

第3期飯山市環境基本計画策定に係る
アンケート調査結果報告書
(市民編)

目次

1) 調査の概要	1
2) 集計方法	2
3) 調査結果	3
1 あなたやご家族のことについて	3
2 飯山市の環境の現状と将来について	6
3 周辺環境と環境問題について	8
4 あなたが実行していることについて	12
5 環境問題の改善について	14
6 ごみの減量について	17
自由意見まとめ	28

1) 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 23 年度に策定した、第 2 期飯山市環境基本計画が令和 3 年度をもって計画期間を終了することに伴い、新たに今後 10 年間の飯山市の環境の保全に関する基本方針を定める第 3 期環境基本計画を策定する必要がある。この調査は、計画の策定にあたり市民の環境に対する考え方や行っている取り組み等の状況を把握することを目的とする。

(2) 調査の種類、対象者及び実施概要

この調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおり。

●調査の種類と対象者

対象者						対象者数		
令和 2 年 12 月 31 日現在、住民基本台帳に掲載されている 20 歳から 79 歳までの市民（市内 10 地区の人口比率、年齢等の属性割合を考慮し無作為抽出）						1,000 人		

	男			女			計		
	人数	構成比	配布数	人数	構成比	配布数	人数	構成比	配布数
飯山	2,277	15.64%	156	2,294	15.75%	158	4,571	31.39%	314
秋津	794	5.45%	55	801	5.50%	55	1,595	10.95%	110
木島	969	6.65%	67	973	6.68%	67	1,942	13.34%	134
瑞穂	607	4.17%	42	579	3.98%	40	1,186	8.14%	82
柳原	446	3.06%	31	394	2.71%	27	840	5.77%	58
富倉	21	0.14%	1	15	0.10%	1	36	0.25%	2
外様	292	2.01%	20	268	1.84%	18	560	3.85%	38
常盤	980	6.73%	67	943	6.48%	65	1,923	13.20%	132
太田	670	4.60%	46	633	4.35%	43	1,303	8.95%	89
岡山	312	2.14%	21	295	2.03%	20	607	4.17%	41
計	7,368	50.59%	506	7,195	49.41%	494	14,563	100.00%	1,000

●実施概要

対象地域	調査形式	配布・回収方法	調査時期
飯山市全域	アンケート調査	郵送配布 郵送回収	令和 3 年 2 月 5 日～ 令和 3 年 3 月 15 日

(3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおり。

●回収結果

調査票配布数	有効回収数	有効回収率
1,000	457	45.7%

2) 集計方法

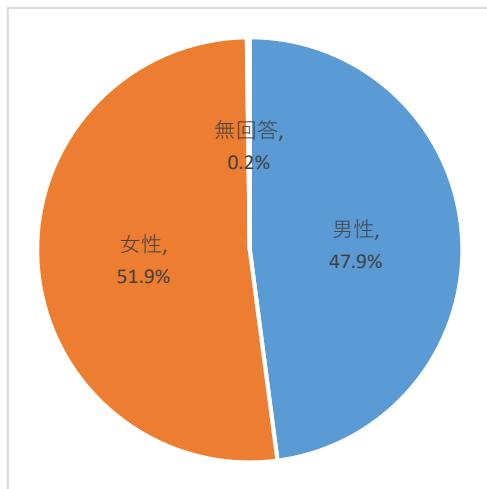
(1) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべきところが回答されていないものは「無回答」として扱う。
- ・設問の構成比は、回収数を基数として百分率（%）で示している。
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答については、回収数を基数として百分率（%）で示している。したがって、合計値は100%にならない場合がある。

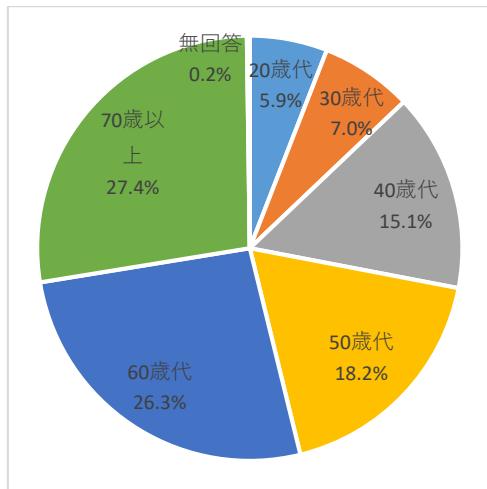
3) 調査結果

1. あなたやご家族のことについて

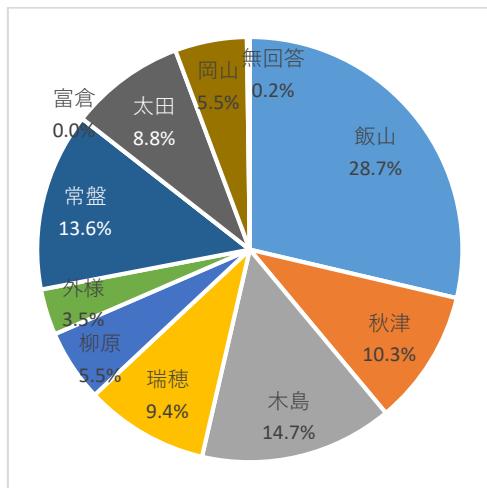
問1 あなたの性別としてあてはまる番号に○をつけてください。



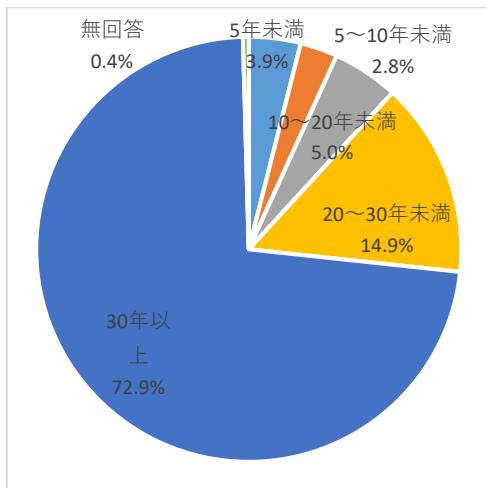
問2 あなたの年齢としてあてはまる番号に○をつけてください。



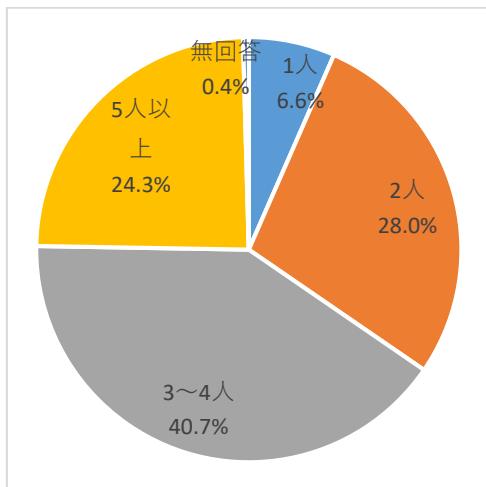
問3 あなたのお住まいの地区としてあてはまる番号に○をつけてください。



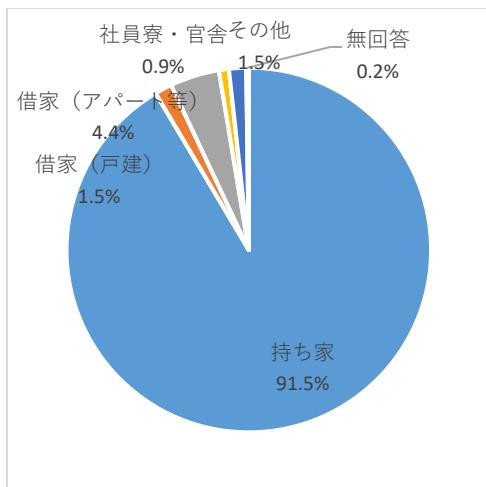
問4 あなたは飯山市に住んで何年になりますか。あてはまる番号に○をつけてください。



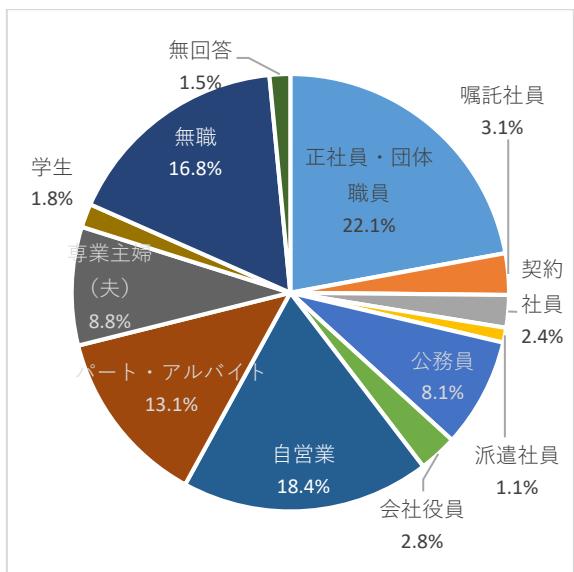
問5 あなたは何人でお住まいですか。あてはまる番号に○をつけてください。



問6 あなたのお住まいは、どのような形態ですか。あてはまる番号に○をつけてください。



問7 あなたのご職業としてあてはまる番号に○をつけてください。

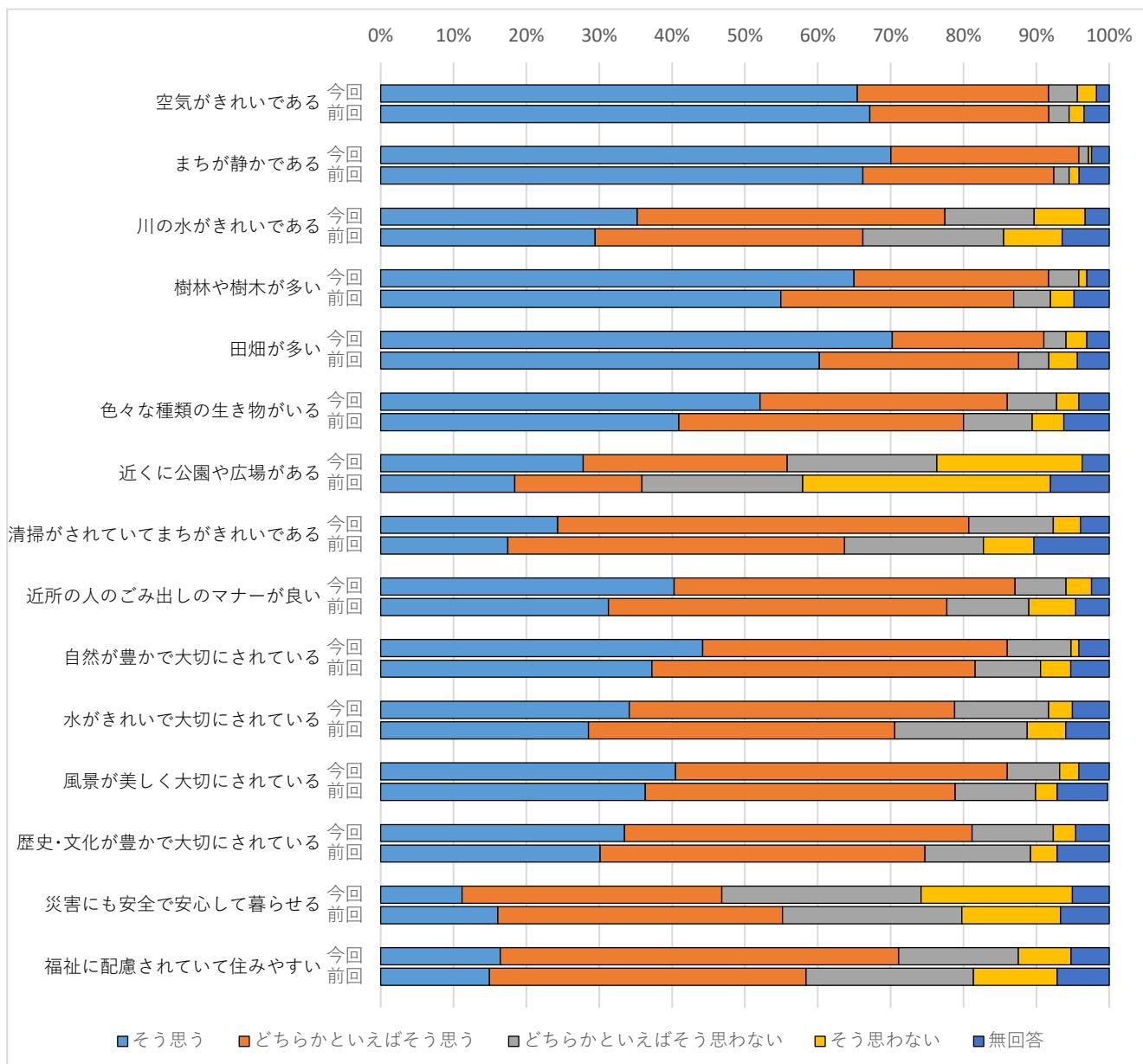


2. 飯山市の環境の現状と将来について

問8 飯山市の環境の現状と将来について、どのように感じていますか。1～15の項目ごとに、「現状について」、「将来について」のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

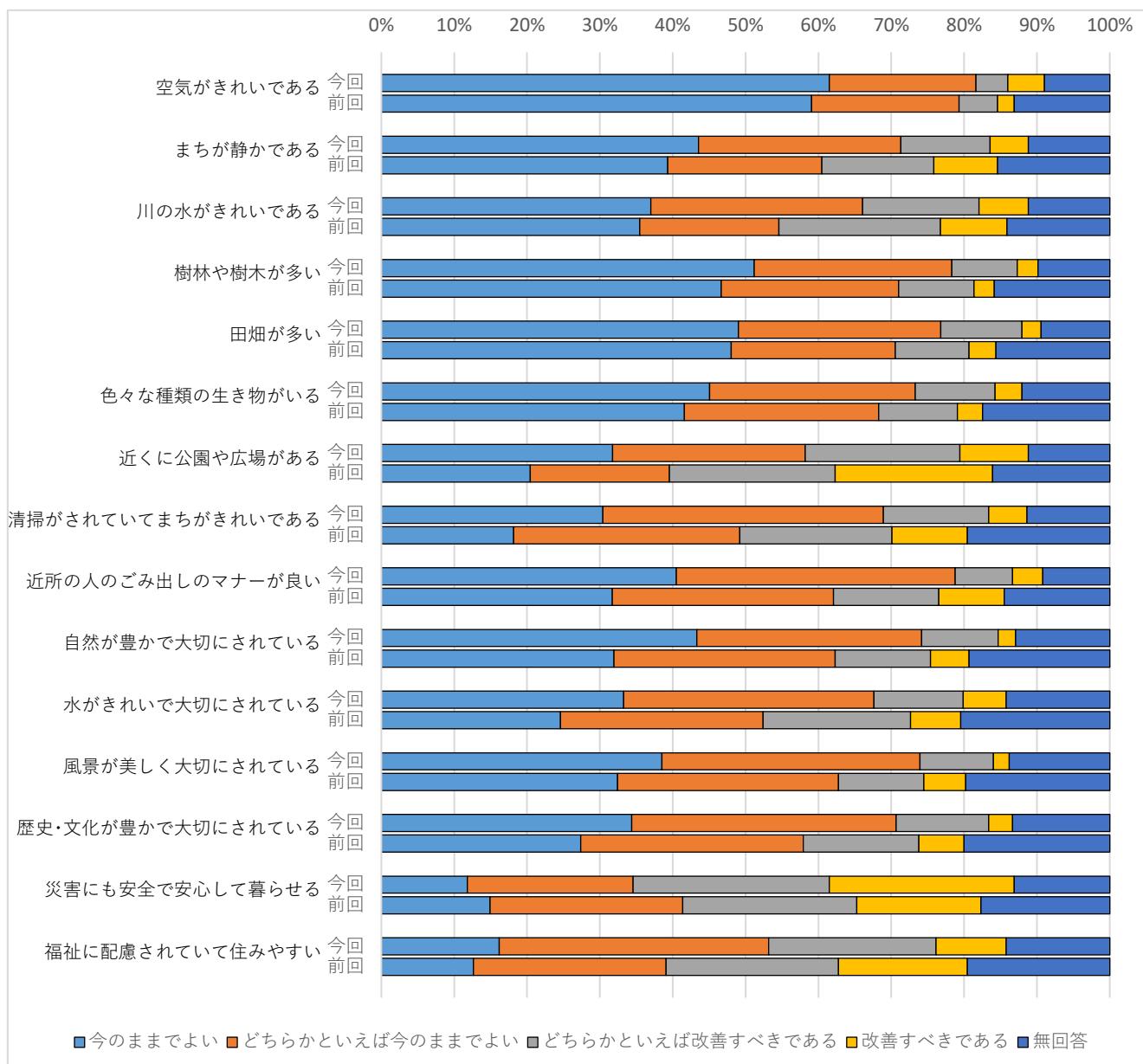
現状について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合では、「まちが静かである(95.8%)」が最も高く、「空気がきれいである(91.7%)」、「樹林や樹木が多い(91.7%)」、「田畠が多い(91.0%)」と続いている。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合では、「災害にも安全で安心して暮らせる(48.1%)」や、「近くに公園や広場がある(40.5%)」が高くなっています。

前回調査との比較では、「近くに公園や広場がある(+19.9pt)」、「清掃がされていてまちがきれいである(+17.1pt)」、「福祉に配慮されていて住みやすい(+12.7pt)」で「(どちらかといえば) そう思う」の割合が大きく改善し、「災害にも安全で安心して暮らせる(+9.9pt)」では「(どちらかといえば) そう思わない」の割合が増加しています。



将来について、「今までよい」「どちらかといえば今までよい」を合わせた割合では、「空気がきれいである(81.6%)」が最も高く、「近所の人のごみ出しのマナーが良い(78.8%)」、「樹林や樹木が多い(78.3%)」と続いています。「どちらかといえば改善すべきである」「改善すべきである」を合わせた割合では、「災害にも安全で安心して暮らせる(52.3%)」や、「福祉に配慮されていて住みやすい(32.6%)」が高くなっています。

前回調査との比較では、「清掃がされていてまちがきれいである(+19.7pt)」、「近くに公園や広場がある(+18.7pt)」、「近所の人のごみ出しのマナーが良い(+16.7pt)」で「(どちらかといえば)今までよい」の割合が大きく改善し、「災害にも安全で安心して暮らせる(+11.4pt)」では「(どちらかといえば)改善すべきである」の割合が増加しています。

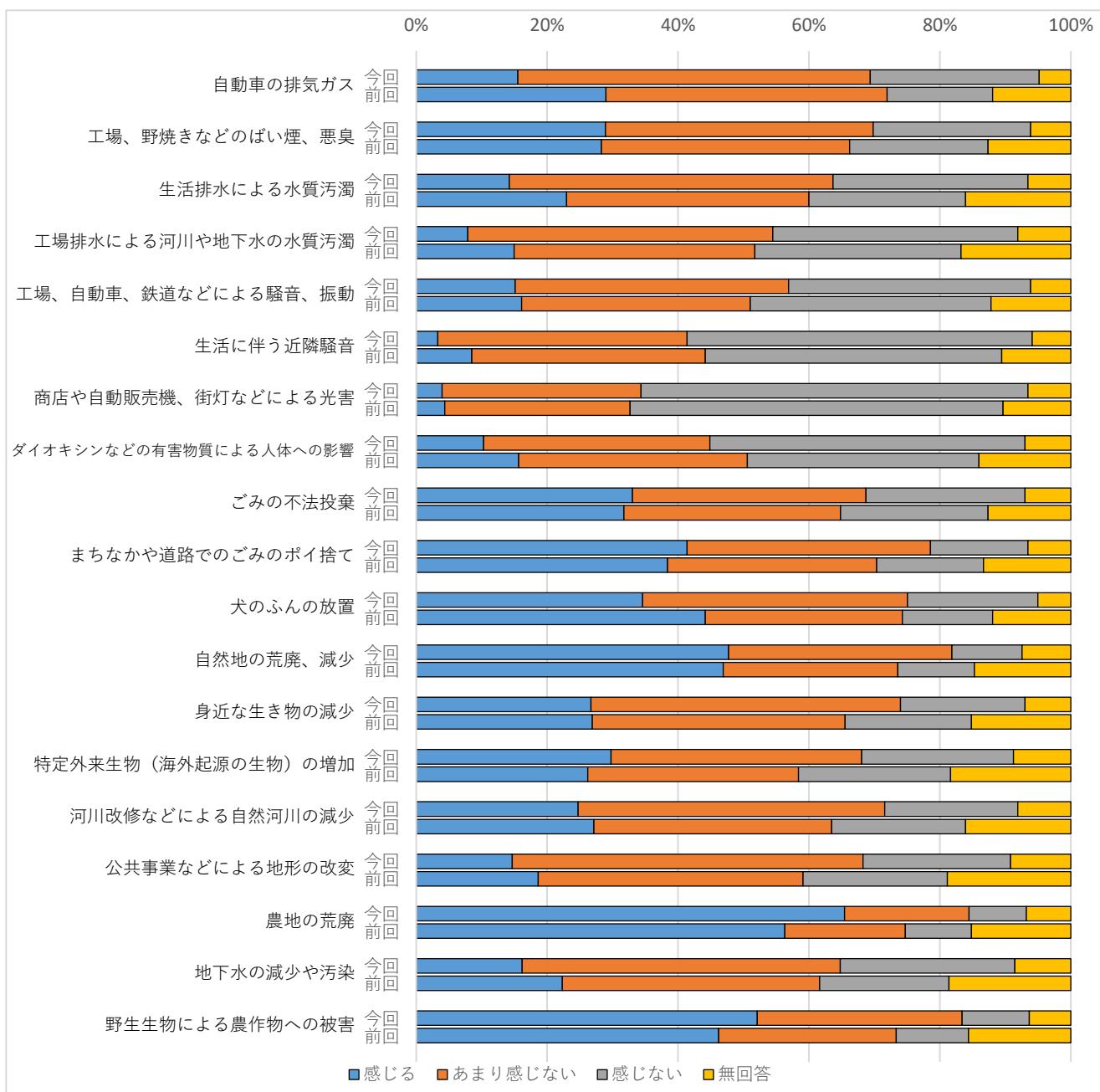


3. 周辺環境と環境問題について

問9 あなたは、次の環境問題について身近に感じますか。また、その問題について関心がありますか。1~31の設問ごとに、「身近に感じるか」、「関心があるか」のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

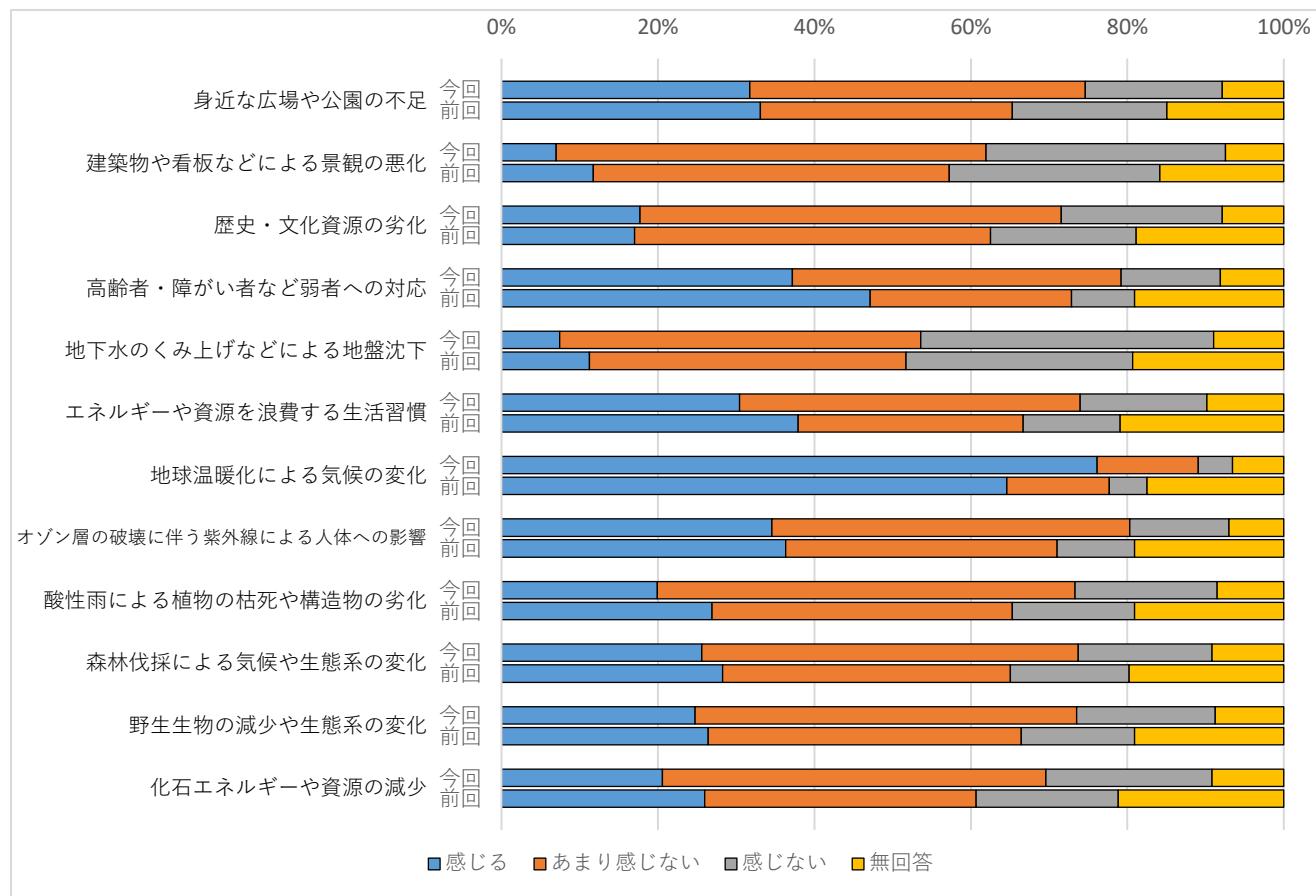
生活環境及び自然環境に関する設問で身近に「感じる」と回答した割合は、「農地の荒廃（65.4%）」、「野生生物による農作物などへの被害（52.1%）」で高くなっています。「感じない」では、「商店や自動販売機、街灯などによる光害（59.1%）」、「生活に伴う近隣騒音（52.7%）」、「ダイオキシンなどの有害物質による人体への影響（48.1%）」の割合が高くなっています。

また前回調査との比較では、「感じる」と回答した割合が、「農地の荒廃（+9.1pt）」、「野生生物による農作物への被害（+5.9pt）」などで増加し、「自動車の排気ガス（-13.4pt）」、「犬のふんの放置（-9.6pt）」などで減少しています。



都市環境及び地球環境に関する設問で身近に「感じる」と回答した割合は、「地球温暖化による気候の変化(76.1%)」で非常に高くなっています。「感じない」では、「地下水のくみ上げなどによる地盤沈下(37.4%)」などの割合が高くなっています。

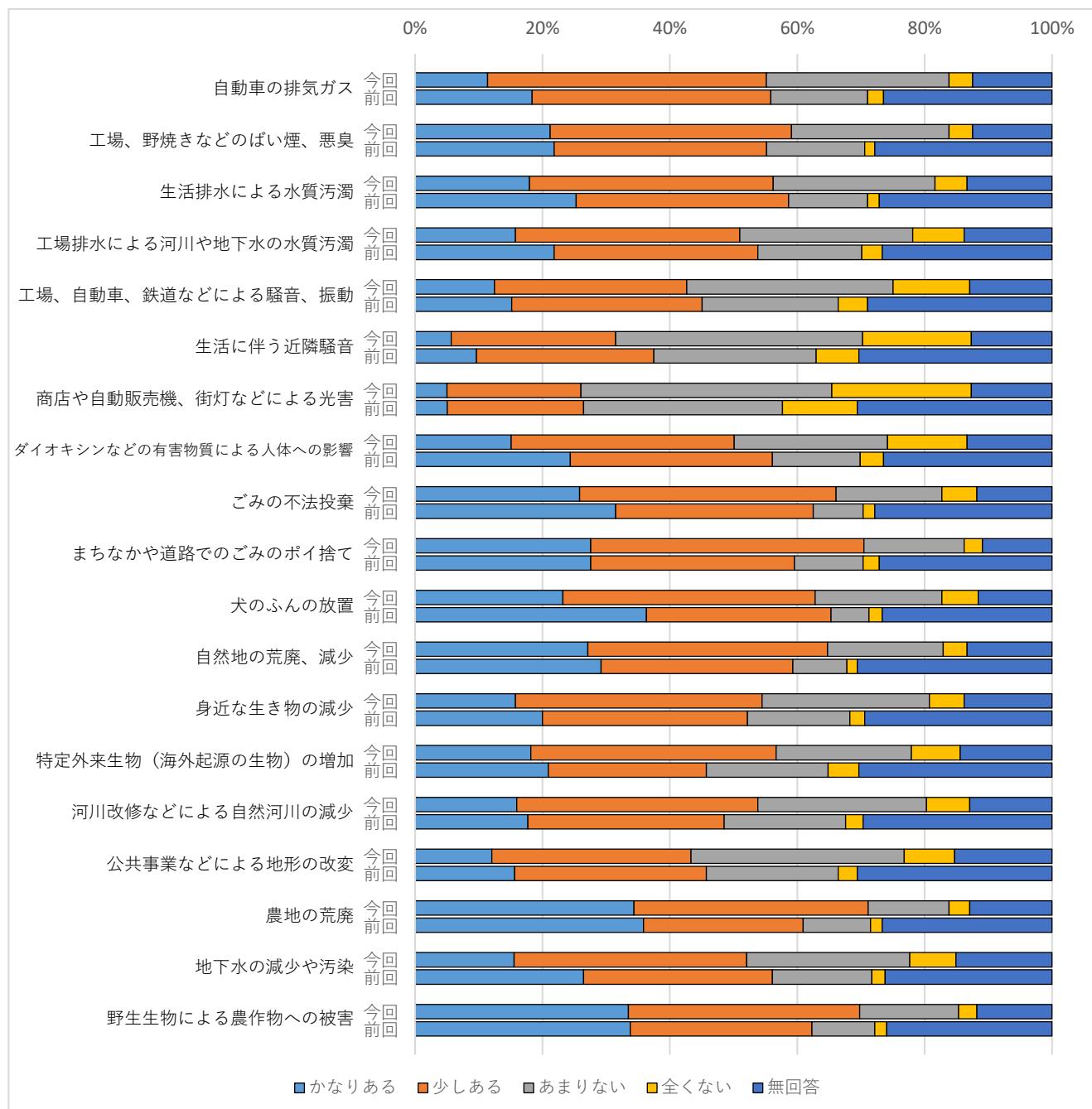
前回調査との比較では、「感じる」と回答した割合が、「地球温暖化による気候の変化(+11.6pt)」で増加し、「高齢者・障がい者など弱者への対応(-9.9pt)」などで減少しています。



また、身近に「あまり感じない」、「感じない」の比率の合計が、全項目平均で11.0pt増加しています。

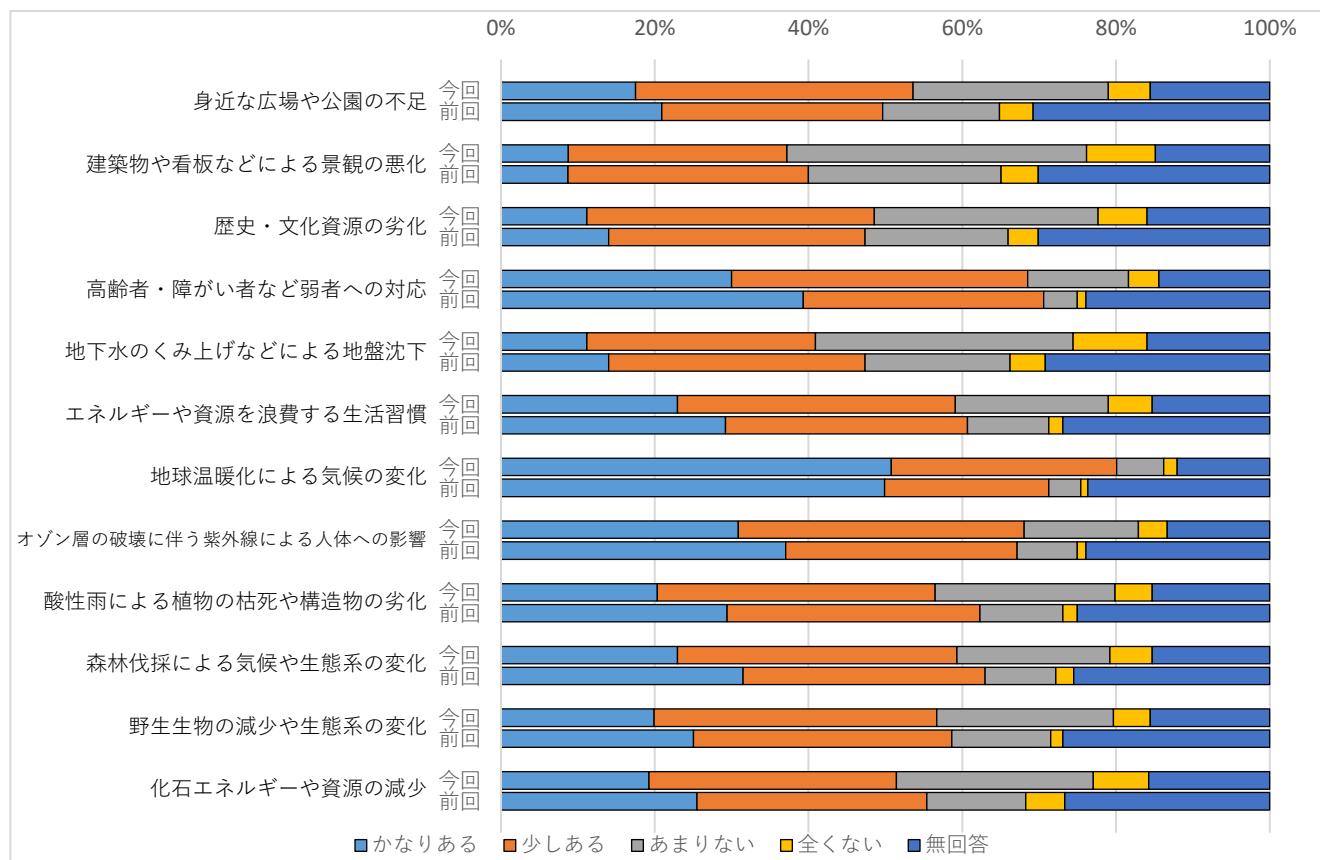
関心があるかについて、生活環境及び自然環境に関する設問で「かなりある」「少しある」を合わせた割合では、身近に感じるかと同様に「農地の荒廃（71.1%）」や「野生生物による農作物などへの被害（69.8%）」が多いほか、「まちなかや道路でのごみのポイ捨て（70.5%）」も高い割合となっています。「あまりない」「全くない」を合わせた割合では、身近に感じるかと同様に「商店や自動販売機、街灯などによる光害（61.3%）」、「生活に伴う近隣騒音（55.8%）」が高くなっています。

前回調査との比較では、「かなりある」「少しある」を合わせた割合が、「まちなかや道路でのごみのポイ捨て（+10.9pt）」、「特定外来生物（海外起源の生物）の増加（+10.9pt）」、「農地の荒廃（+10.2pt）」で大きく増加し、「生活に伴う近隣騒音（-6.0pt）」、「ダイオキシンなどの有害物質による人体への影響（-6.0pt）」などで減少しています。



都市環境及び地球環境に関する設問で関心が「かなりある」「少しある」と回答した割合は、身近に感じるかと同様に「地球温暖化による気候の変化（80.1%）」で非常に高くなっているほか、「高齢者・障がい者など弱者への対応（68.5%）」、「オゾン層の破壊に伴う紫外線による人体への影響（68.1%）」が続きます。「あまりない」「全くない」を合わせた割合では、「建築物や看板などによる景観の悪化（47.9%）」、「地下水のくみ上げなどによる地盤沈下（43.1%）」などの割合が高くなっています。

前回調査との比較では、「かなりある」「少しある」を合わせた割合が、「地球温暖化による気候の変化（+8.8pt）」などで増加し、「地下水のくみ上げなどによる地盤沈下（-6.4pt）」などで減少しています。



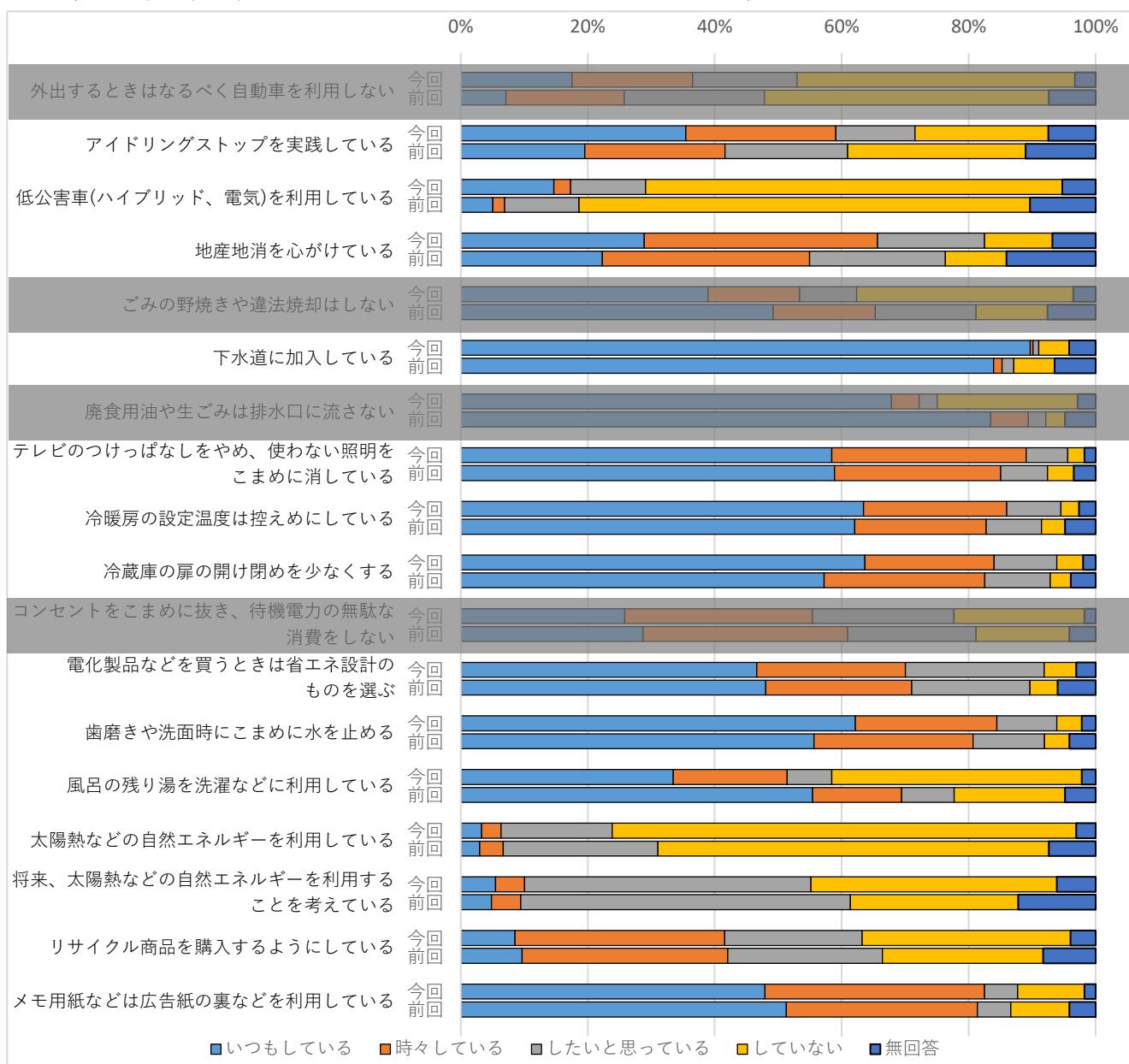
4. あなたが実行していることについて

問10 あなたやあなたの家族は、日常生活の中で環境のためにどのようなことをしていますか。1～35の設問ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

大気汚染や水質汚濁に関して及び省エネルギー・省資源の促進に関する設問で「いつもしている」と回答した割合は、「下水道に加入している（89.7%）」が最も高く、「太陽熱などの自然エネルギーを利用している（3.3%）」、「将来、太陽熱などの自然エネルギーを利用することを考えている（5.5%）」、「リサイクル商品を購入するようにしている（8.5%）」では低い割合となっています。

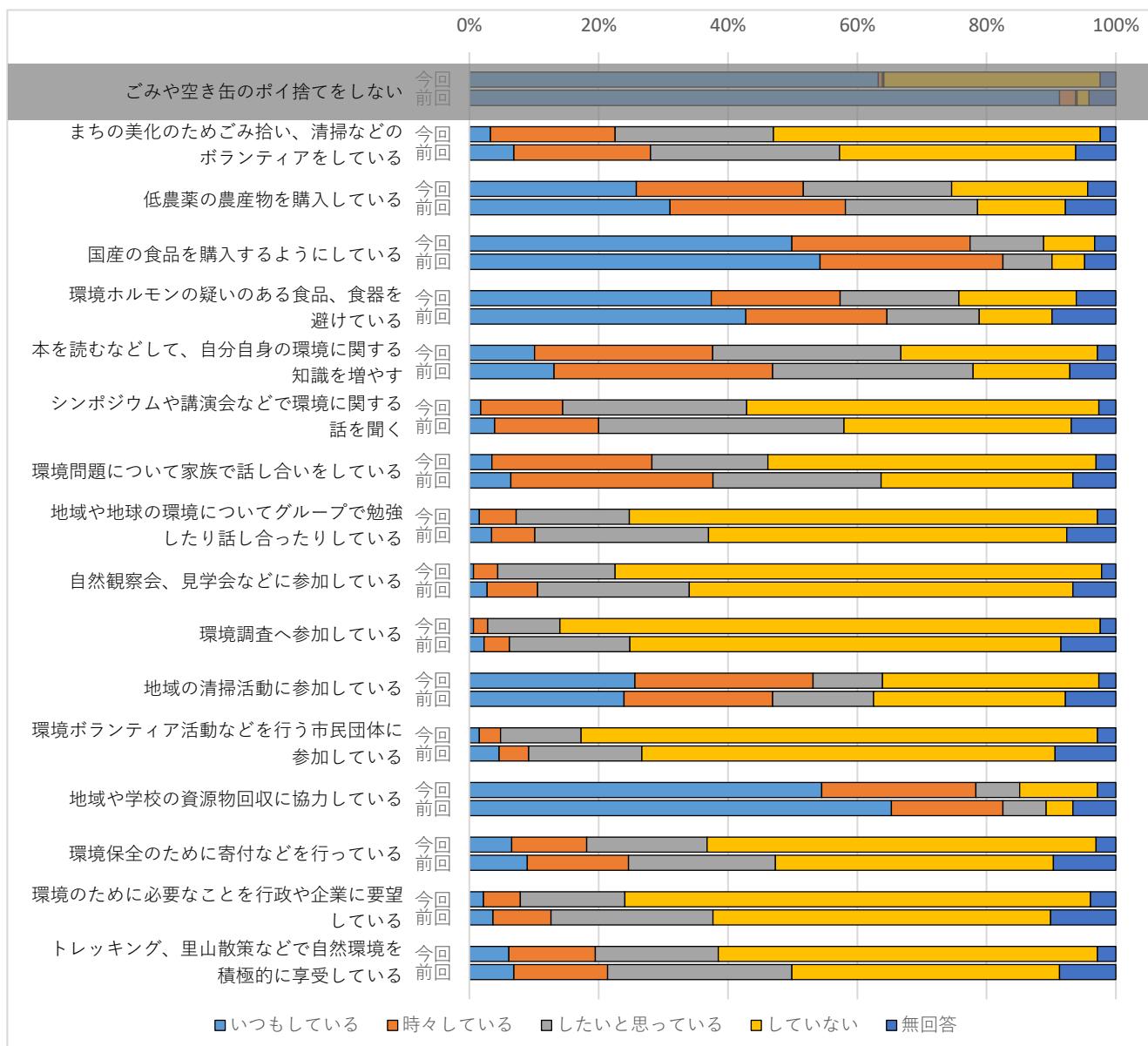
前回調査との比較では、「いつもしている」の割合が、「アイドリングストップを実践している（+15.9pt）」、「低公害車（ハイブリッド、電気）を利用している（+9.6pt）」などで増加し、「風呂の残り湯を洗濯などに利用している（-21.9pt）」では減少しています。

（設問1, 5, 7, 11は回答方法が分かりづらかったため参考数値）



まちの美化や環境汚染に関して及び環境学習や環境活動に関する設問で「いつもしている」と回答した割合は、「地域や学校の資源物回収に協力している（54.5%）」、「国産の食品を購入するようにしている（49.9%）」で高く、「環境ホルモンの疑いのある食品、食器を避けている（37.4%）」、「低農薬の農産物を購入している（25.8%）」、「地域の清掃活動に参加している（25.6%）」でも一定の割合があるものの、その他の項目では平均3.4%と非常に低くなっています（設問19は回答方法が分かりづらかったため参考数値）。

前回調査との比較では、「いつもしている」の割合が、「地域の清掃活動に参加している（+1.7pt）」では微増していますが、「地域や学校の資源物回収に協力している（-10.8pt）」をはじめ、その他すべての項目で減少しています。また、「していない」の割合が、平均で13.7%増加しています。

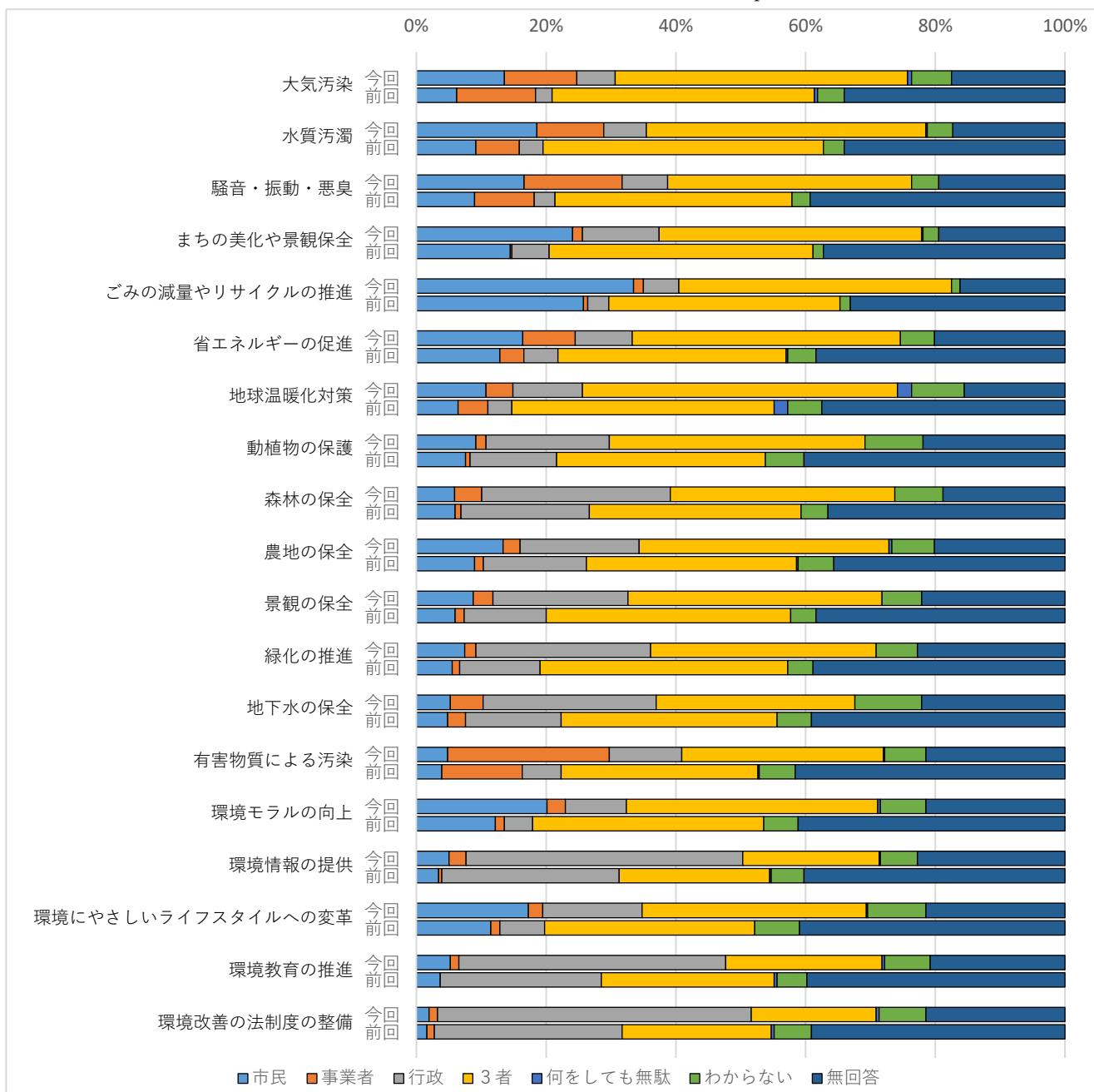


5. 環境問題の改善について

問11 あなたは、環境に関する問題を解決するために誰の責任や努力が最も大切だと思いますか。また、何を優先すべきと考えますか。1~19の項目ごとに、最もあてはまる番号に○をつけ、優先すべき項目に5つまで○をつけてください。

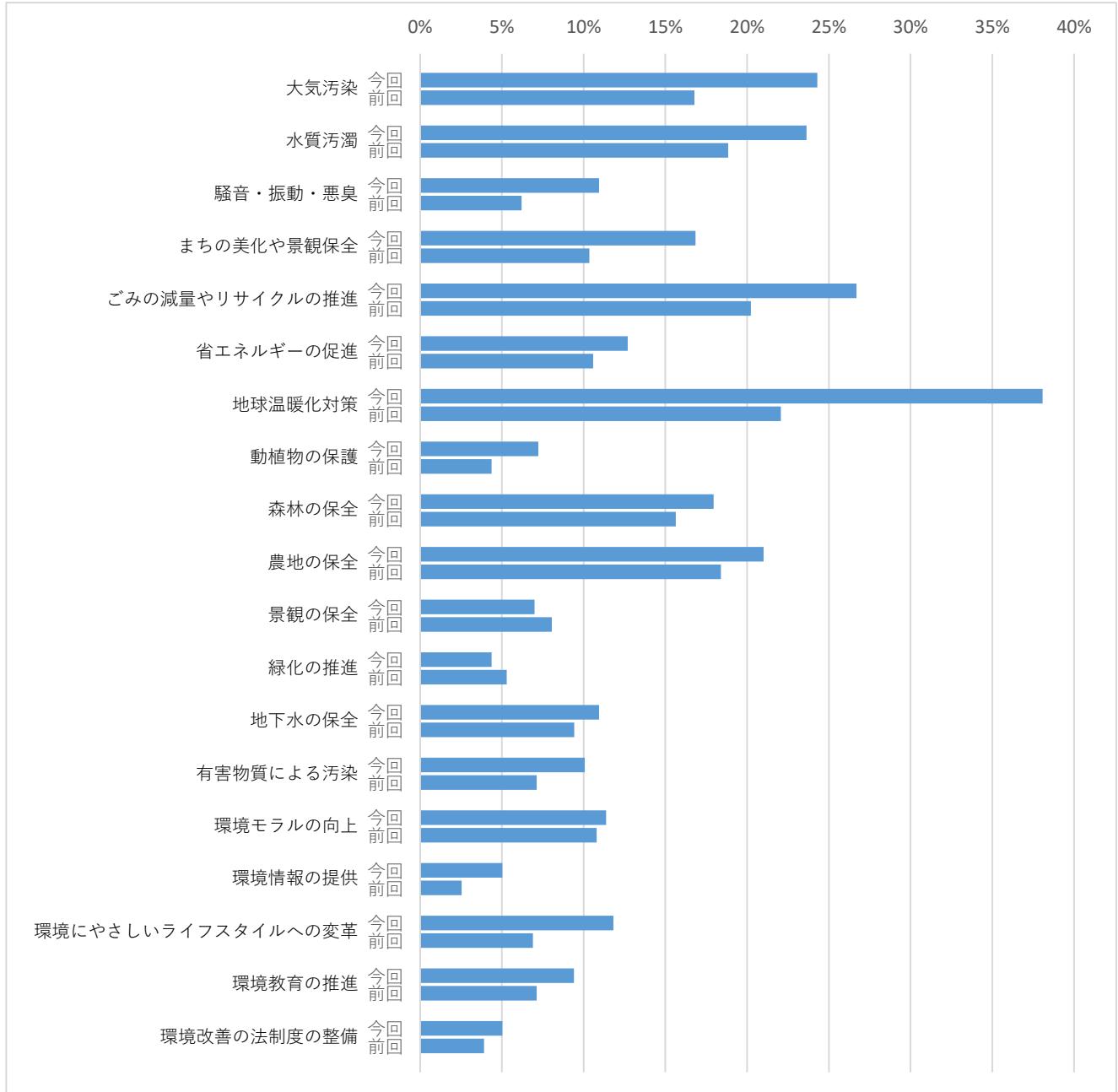
ほとんどの項目で「3者の協力」が最も多い回答になっていますが、「環境改善の法制度の整備(48.4%)」、「環境情報の提供(42.7%)」、「環境教育の推進(41.1%)」では「行政」との回答が最も多くなっています。また、「市民」との回答では、「ごみの減量やリサイクルの推進(33.5%)」や「まちの美化や景観保全(24.1%)」で、「事業者」との回答は、「有害物質による汚染(24.9%)」で多くなっています。

前回調査との比較では、「行政」と回答した割合が、全項目平均で+7.9ptと最も多く増加しています。



優先すべき項目としては、「地球温暖化対策（38.1%）」が最も多く、「ごみの減量やリサイクルの推進（26.7%）」、「大気汚染（24.3%）」、「水質汚濁（23.6%）」と続きます。

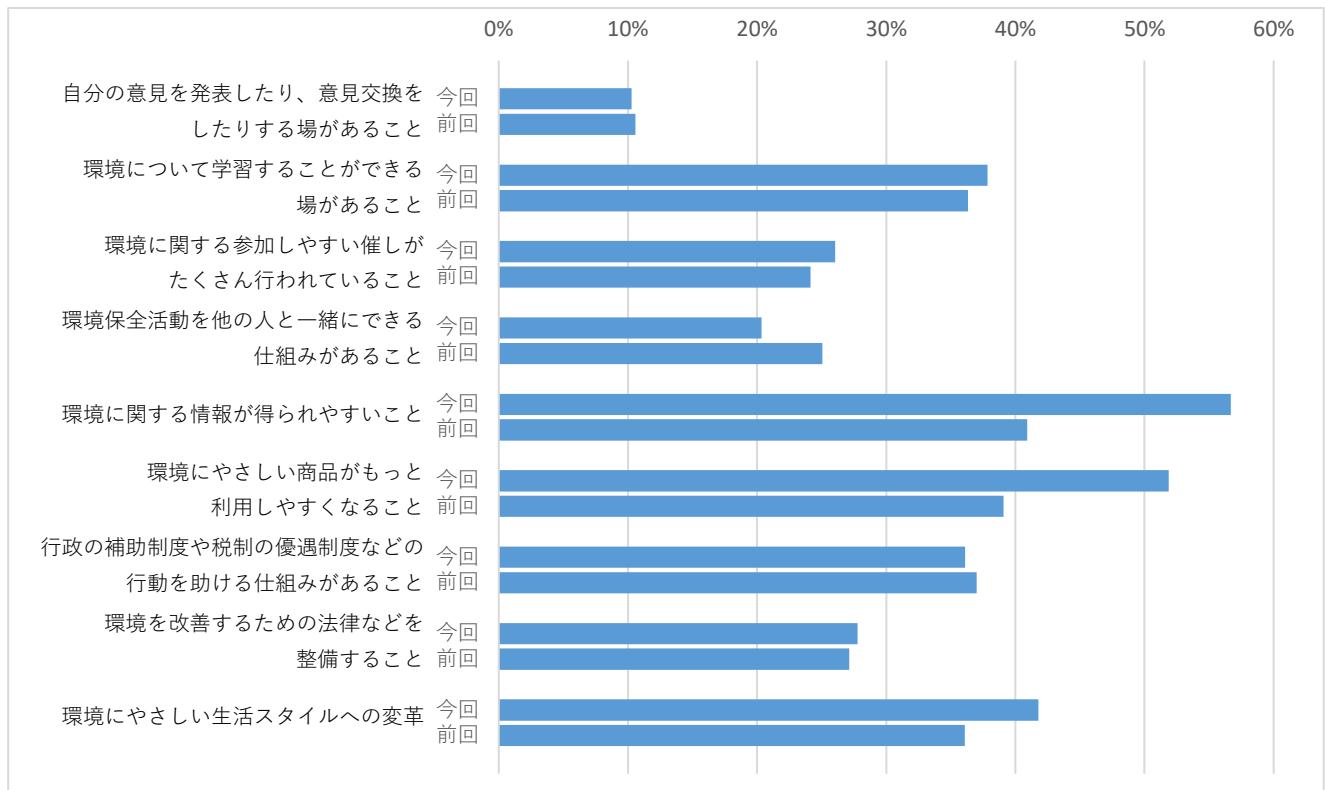
前回調査との比較では、「地球温暖化対策（+16.0pt）」が最も多く増加し、「大気汚染（+7.5pt）」が続きます。



問12 あなたは、環境を良くするためには、次のうち何が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「環境に関する情報が得られやすいこと（56.7%）」が最も多く、「環境にやさしい商品がもっと利用しやすくなること（51.9%）」、「環境にやさしい生活スタイルへの変革（41.8%）」と続きます。

前回調査との比較では、「環境に関する情報が得られやすいこと（+15.8pt）」や「環境にやさしい商品がもっと利用しやすくなること（+12.8pt）」で大きく増加し、「環境保全活動を他の人と一緒にできる仕組みがあること（-4.7pt）」で減少しています。

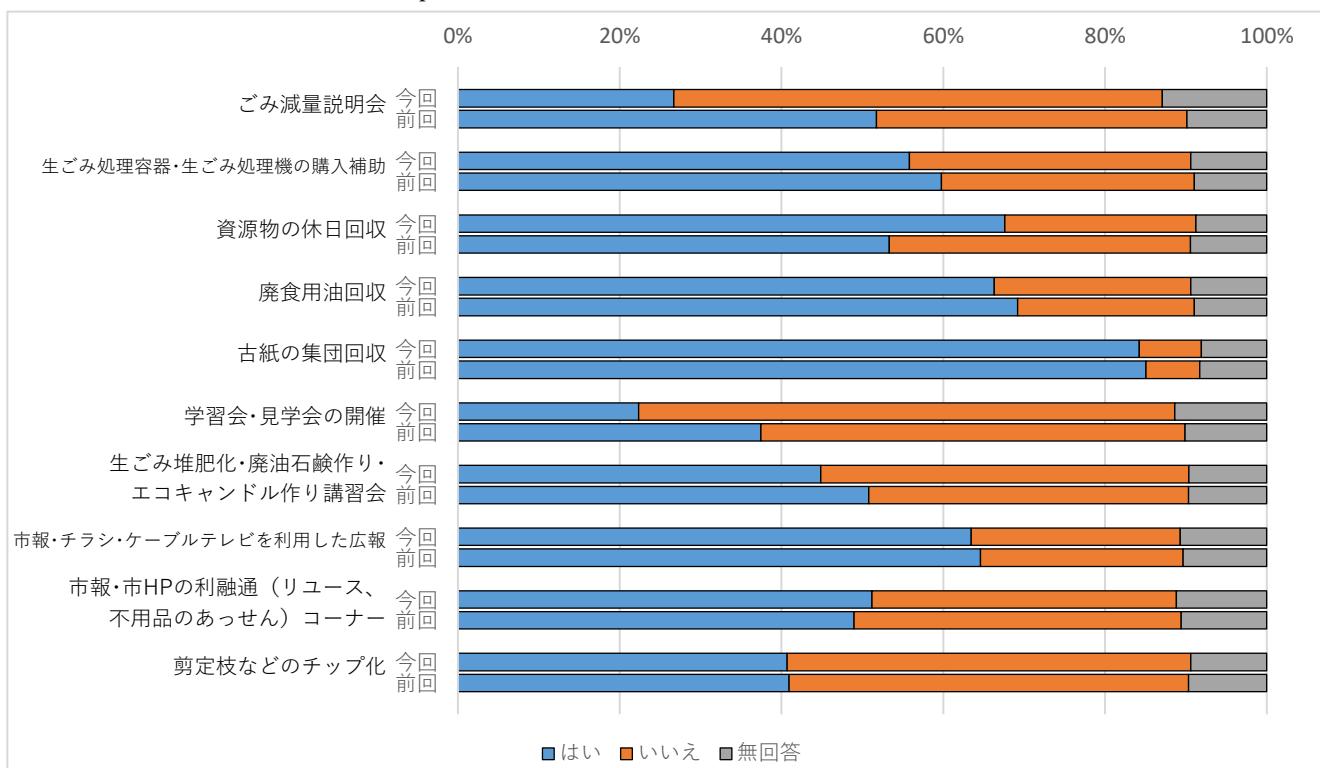


6. ごみの減量について

問13 市では、令和4年度までにごみ処分量を8.5%減量（平成22年度対比）を達成するための取り組みを行っています。その取り組みについて、1~10の項目ごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

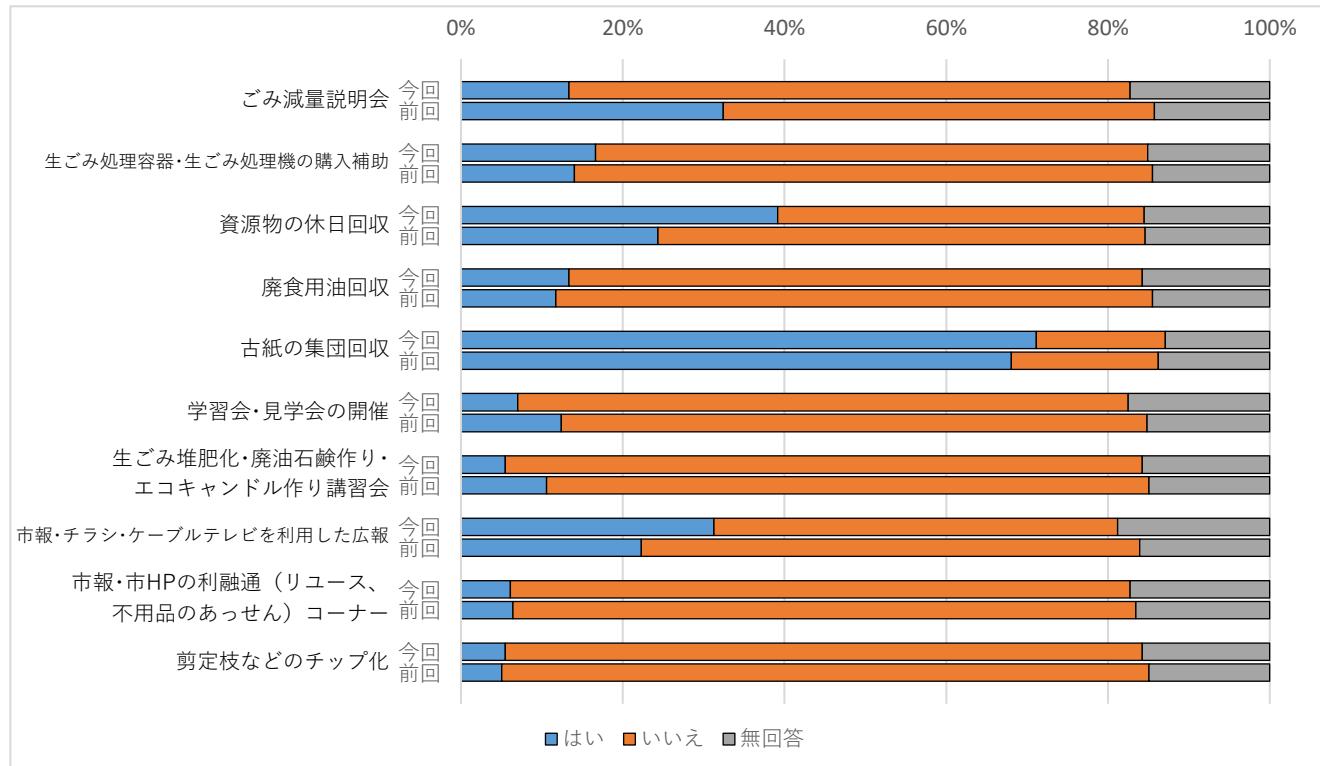
各取り組みの認知度については、「古紙の集団回収（84.2%）」が特に高く、「資源物の休日回収（67.6%）」、「廃食用油回収（66.3%）」と続きます。「学習会・見学会の開催（22.3%）」、「ごみ減量説明会（26.7%）」では低い割合となっています。

前回調査との比較では、「資源物の休日回収（+14.3pt）」で大きく増加し、「ごみ減量説明会（-25.0pt）」や「学習会・見学会の開催（-15.2pt）」で減少しています。



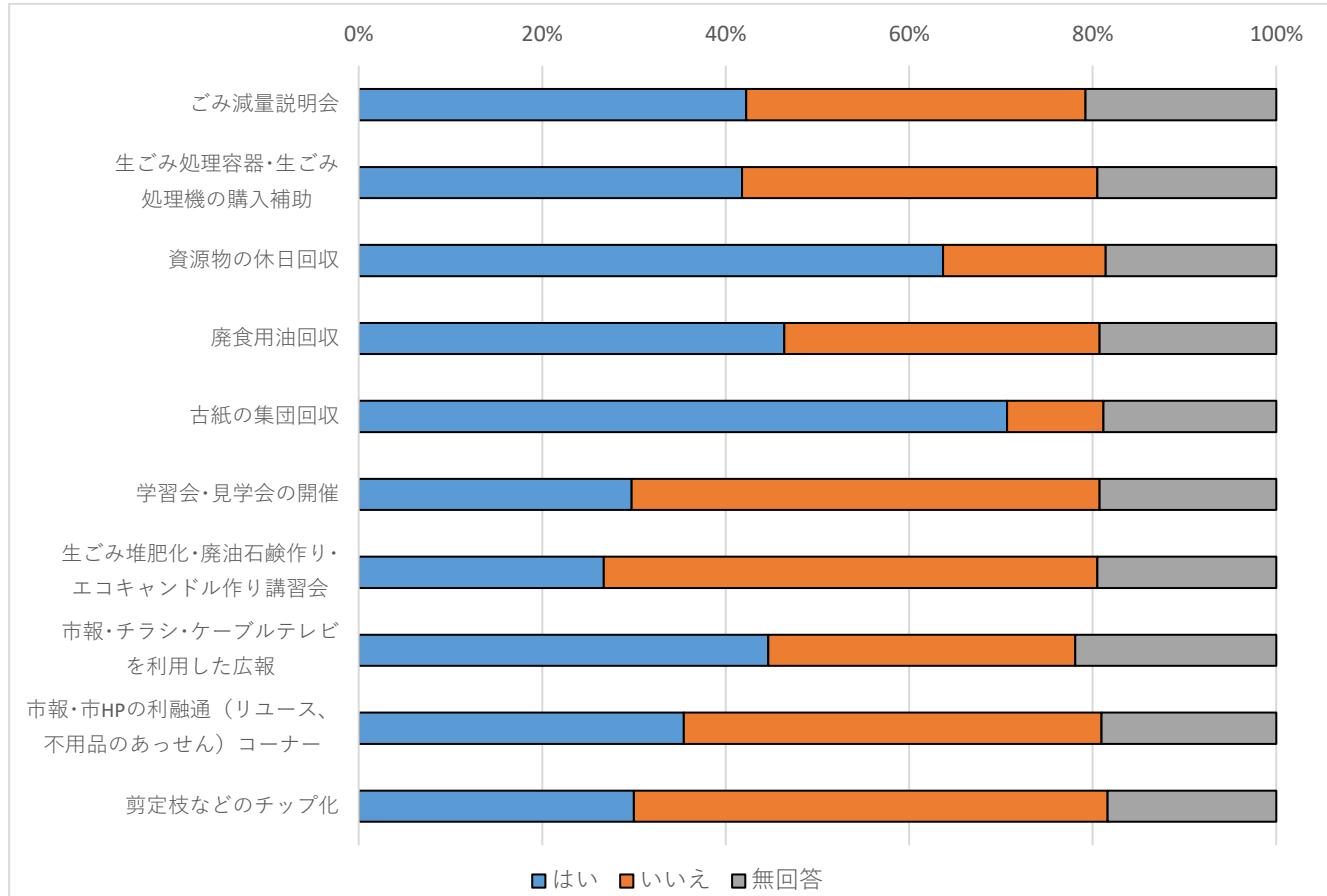
各取り組みの利用経験については、「古紙の集団回収（71.1%）」が特に高くなっています、「資源物の休日回収（39.2%）」、「市報・チラシ・ケーブルテレビを利用した広報（31.3%）」と続きますが、その他の項目では低い割合となっています。

前回調査との比較では、「資源物の休日回収（+14.8pt）」や「市報・チラシ・ケーブルテレビを利用した広報（+9.0pt）」で大きく増加し、「ごみ減量説明会（-19.1pt）」などで減少しています。



各取り組みの今後の利用意向については、「古紙の集団回収（70.7%）」、「資源物の休日回収（63.7%）」が特に高くなっています。「生ごみ堆肥化・廃油石鹼作り・エコキャンドル作り講習会（26.7%）」、「学習会・見学会の開催（29.8%）」、「剪定枝などのチップ化（30.0%）」では低い割合となっています。

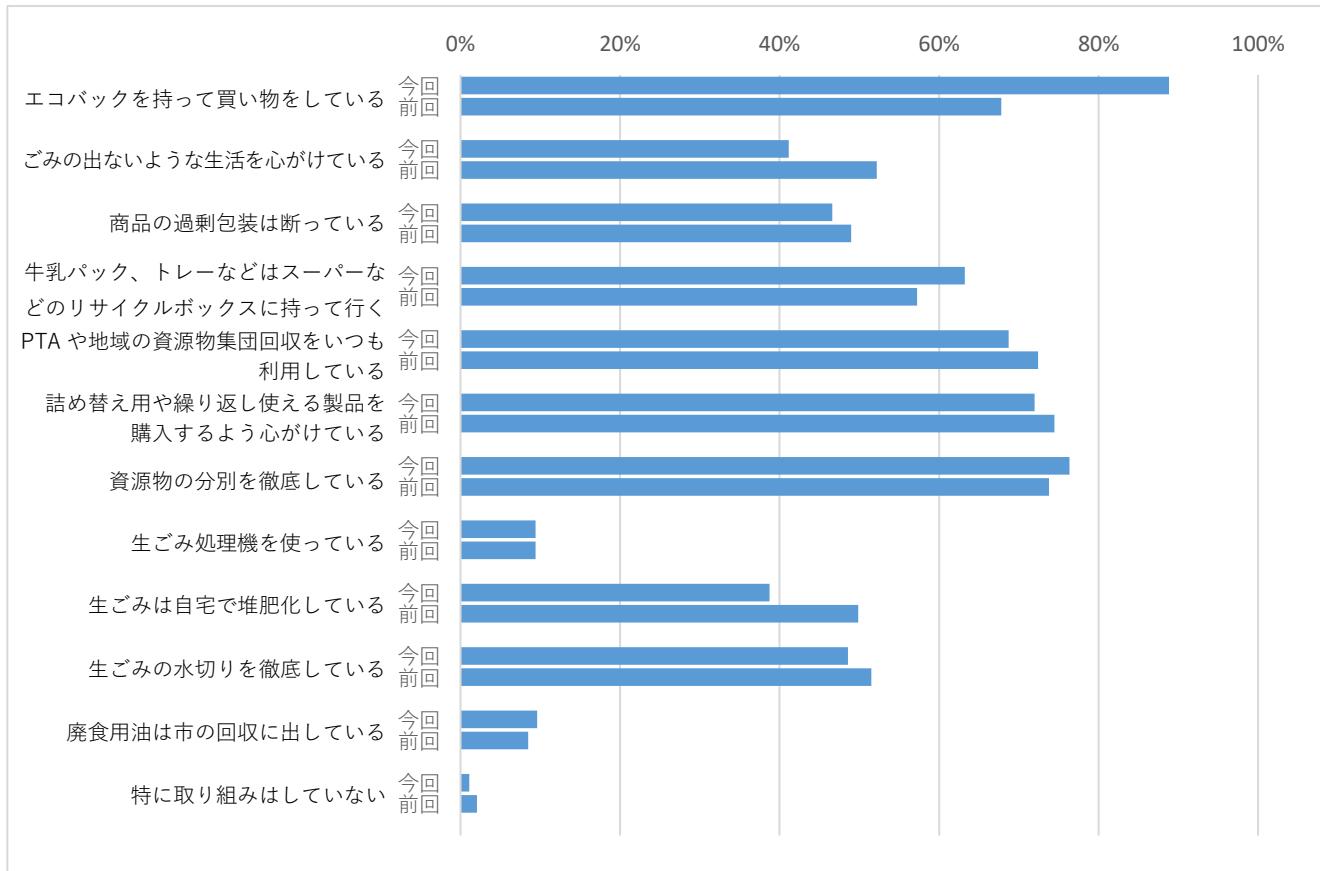
(新規設問)



問14 あなたは、ごみの減量について、どのような取り組みをしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「エコバックを持って買い物をしている(88.8%)」が最も高く、「資源物の分別を徹底している(76.4%)」、「詰め替え用や繰り返し使える製品を購入するよう心がけている(72.0%)」と続いています。「生ごみ処理機を使っている(9.4%)」、「廃食用油は市の回収に出している(9.6%)」では低い割合となっています。

前回調査との比較では、「エコバックを持って買い物をしている(+21.0pt)」で大きく増加し、「生ごみは自宅で堆肥化している(-11.2pt)」や「ごみの出ないような生活を心がけている(-11.0pt)」などで減少しています。

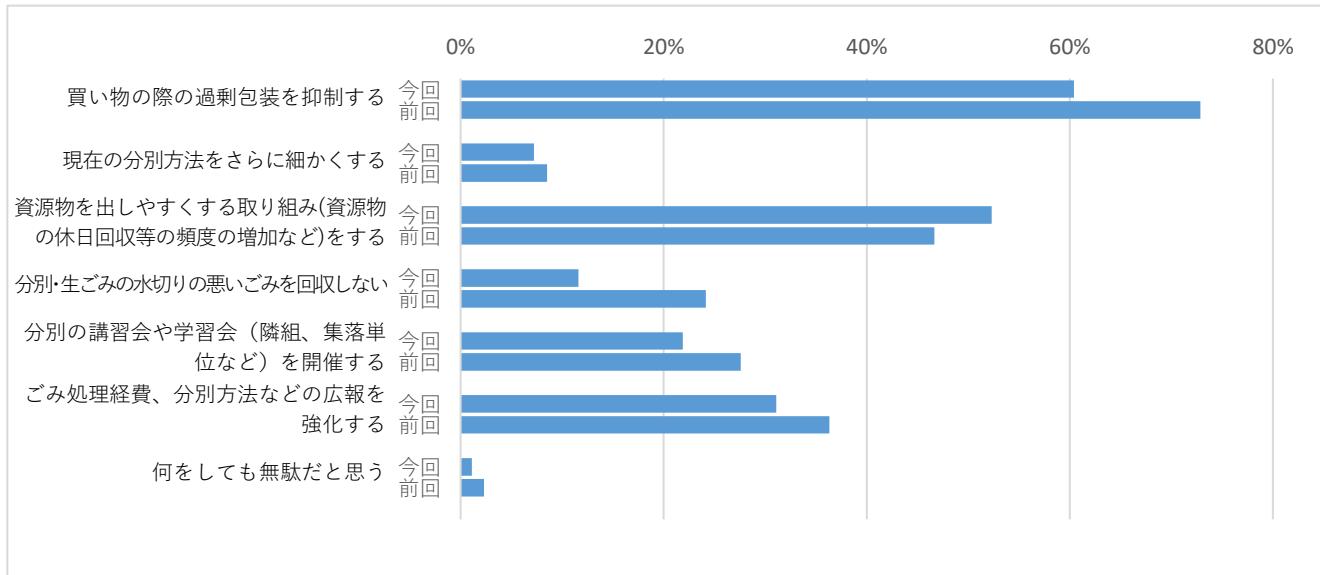


問15 ごみの処分量を8.5%減量するための市の施策として、どのようなものが有効だと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物の際の過剰包装を抑制する (60.4%)」が最も高く、「資源物を出しやすくする取り組み（資源物の休日回収等の頻度の増加など）をする (52.3%)」が続いています。「現在の分別方法をさらに細かくする (7.2%)」は低い割合となっています。

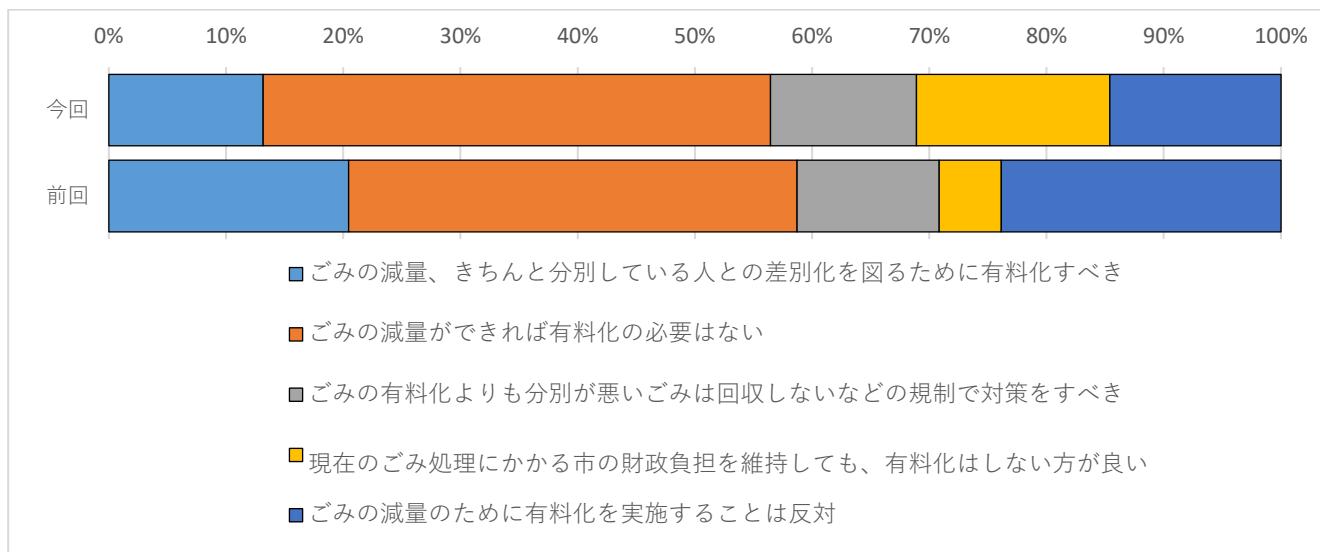
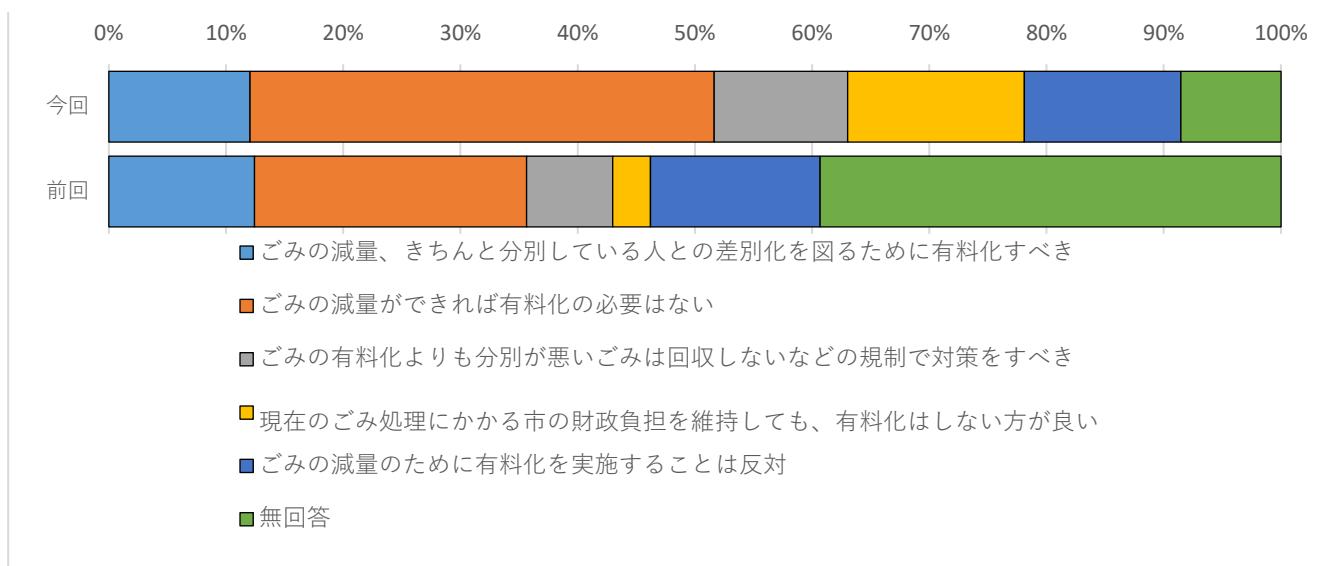
前回調査との比較では、「資源物を出しやすくする取り組み(資源物の休日回収等の頻度の増加など)をする (+5.6pt)」では増加しましたが、その他すべての項目で減少しています。中でも「買い物の際の過剰包装を抑制する (-12.5pt)」や「分別・生ごみの水切りの悪いごみを回収しない (-12.5pt)」では大きく減少しています。



問16 燃えるごみの処理の有料化について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

「ごみの減量ができれば有料化の必要はない（39.6%）」が最多の回答となりました。「ごみの減量、きちんと分別している人との差別化を図るために有料化すべき」との回答は12.0%にとどまりました。

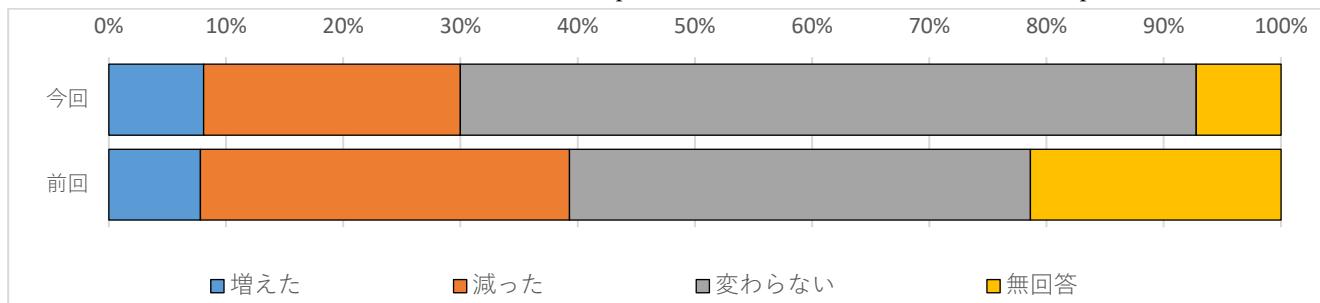
前回調査との比較で無回答を除いた割合では、「ごみの減量、きちんと分別している人との差別化を図るために有料化すべき」の割合が7.3pt減少し、「現在のごみ処理にかかる市の財政負担を維持しても、有料化はしない方が良い」では11.2pt増加しています。



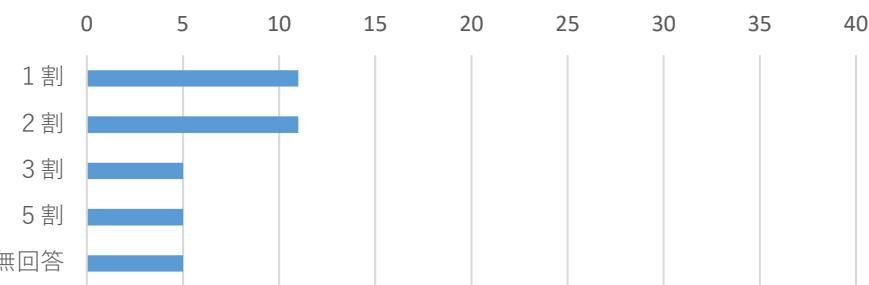
問17 あなたのご家庭では、この2～3年間でごみの量はどのようになりましたか。あてはまる番号に○をつけてください。1または2に○をつけた方は、何割程度の増減があったかお書きください。

「変わらない（62.8%）」が最も多く、「減った（21.9%）」、「増えた（8.1%）」の順になりました。

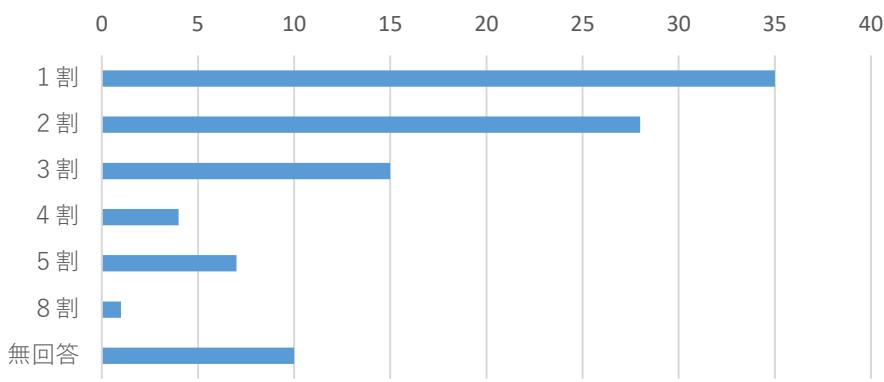
前回調査との比較では、「減った」の割合が9.6pt減少し、「変わらない」の割合が23.5pt増加しています。



増えた割合



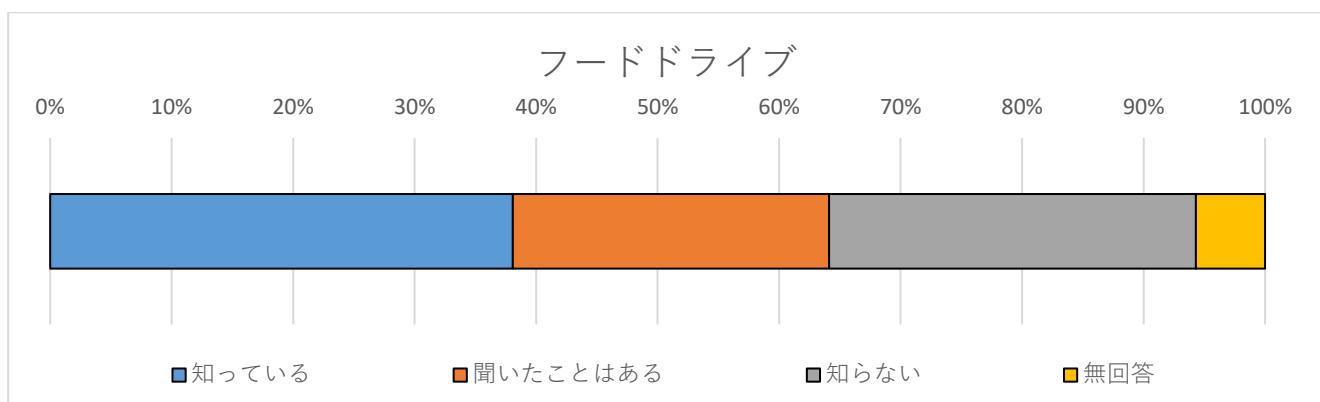
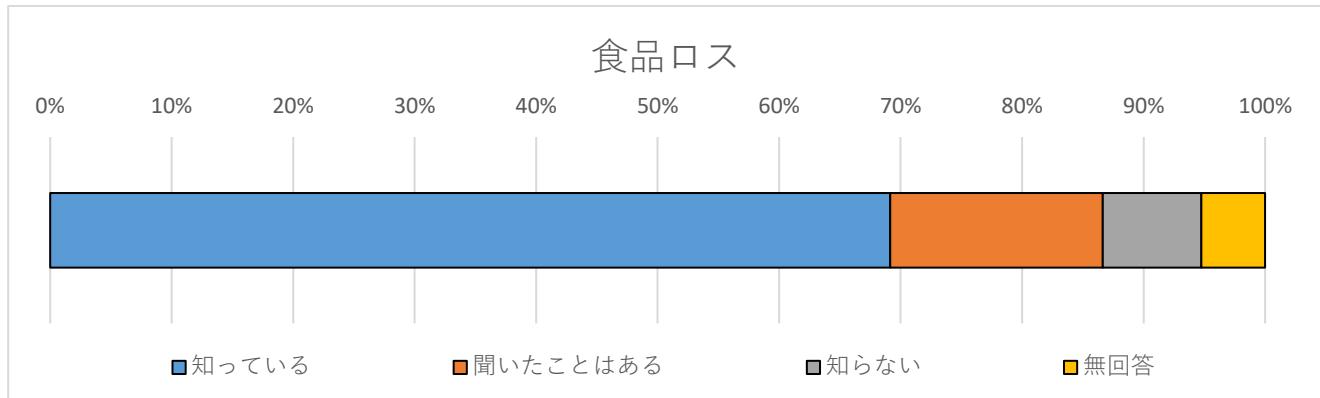
減った割合



問18 あなたは、「食品ロス（食べられるのに捨てられる食品）」や「フードドライブ（余っている食品を持ち寄って寄付する仕組み）」について知っていますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

食品ロスの理解率は 69.1%と約 7割にのぼりました。「聞いたことはある」との回答を合わせた認知率は 86.7%となり、9割弱の方が「食品ロス」という言葉について聞いたことがあるという結果でした。一方フードドライブの理解率は 38.1%にとどまり、認知率は 64.1%となりました。

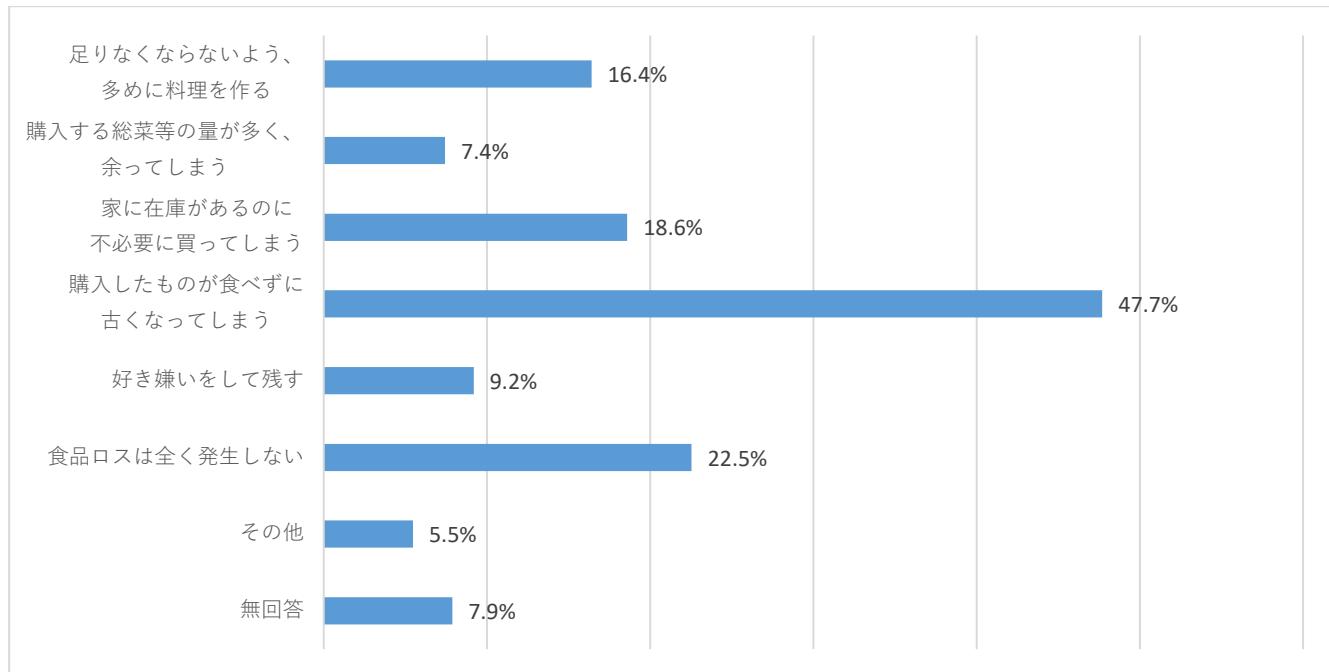
(新規設問)



問19 あなたの家庭では、どんな理由で食品ロスが発生していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「購入したものが食べずに古くなってしまう（47.7%）」が最も多く、約5割にのぼりました。「食品ロスは全く発生しない（22.5%）」という回答も2割強ありました。

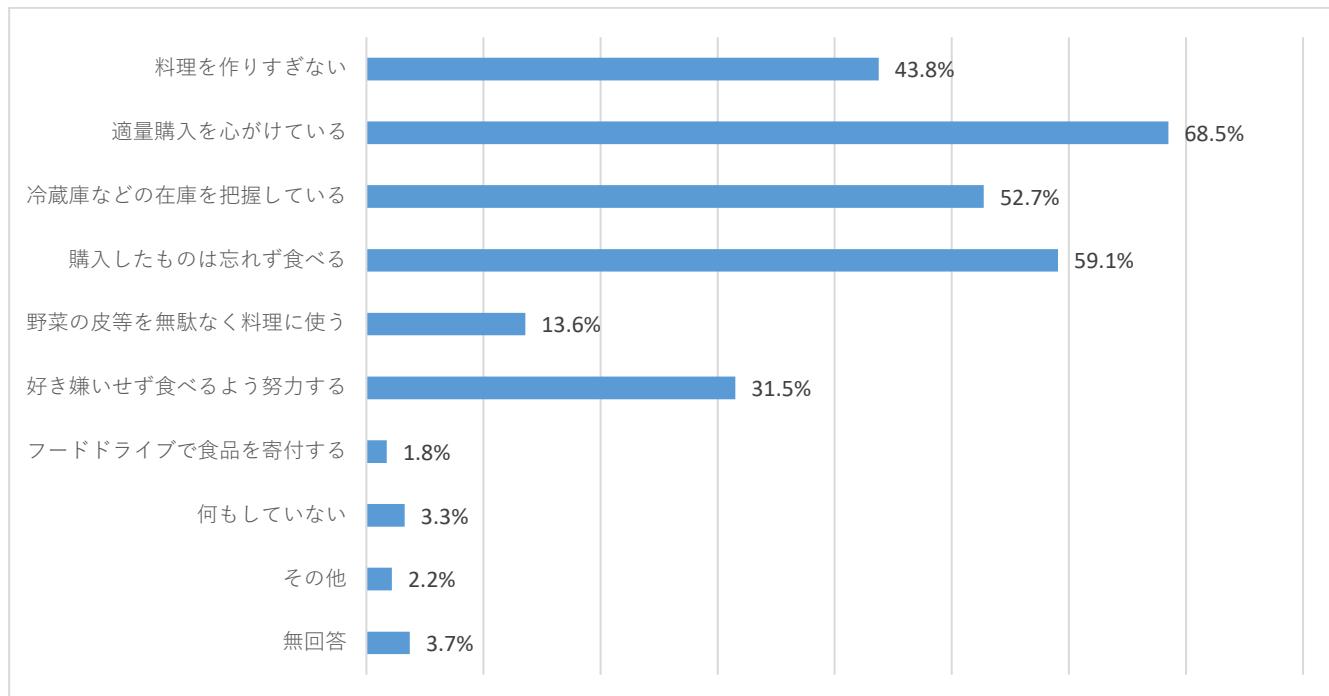
(新規設問)



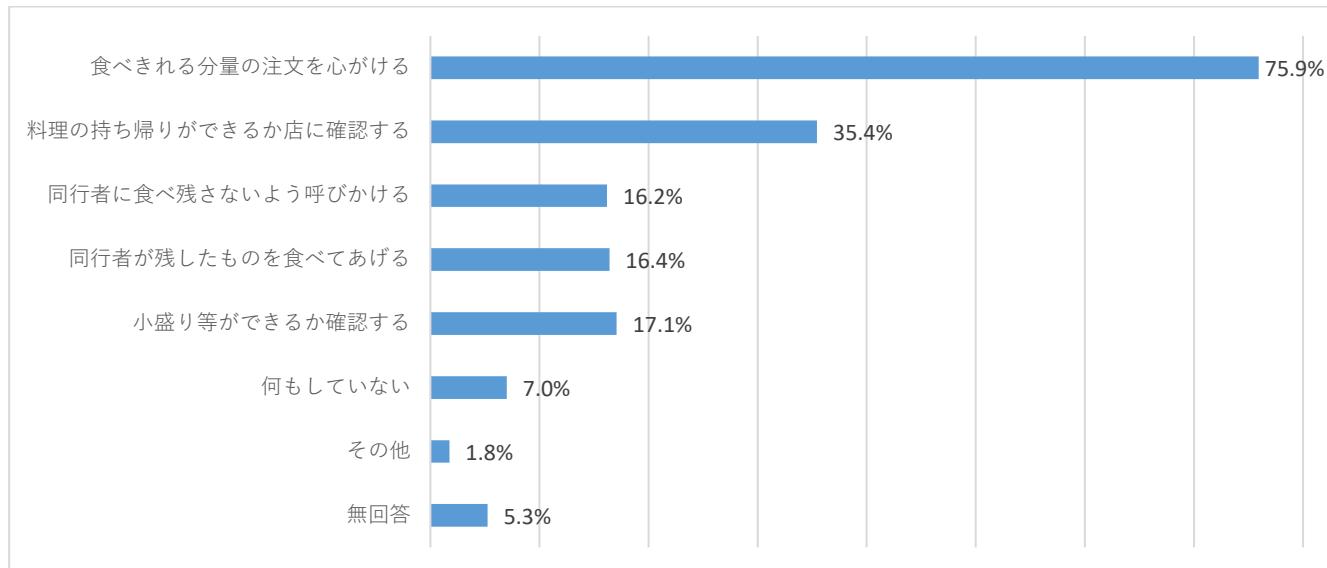
問20 あなたは、食品ロスを減らすために行っていることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

家庭での取り組みについては、「適量購入を心がけている（68.5%）」が最も多く、「購入したものは忘れず食べる（59.1%）」、「冷蔵庫などの在庫を把握している（52.7%）」が続きます。「フードドライブで食品を寄付する」は1.8%、「何もしていない」は3.3%でした。

（新規設問）



外食や宴会の際の取り組みについては、「食べきれる分量の注文を心がける（75.9%）」が最も多い回答となりました。「何もしていない」は7.0%でした。



自由意見まとめ

- ①環境について市民に対する広報を多くする ②一人一人が自覚をしながら生活することが大切
- （大）（中）それぞれのお金の助成だと助かります。（二人家ぐらしで中コンポスト買う）市は（中）コンポスト助成なし、と言われ、（大）は助成有との事。
- 未来の地球がどうなっているか、「そんな時まで生きてないから関係ない」という年配の方が多くいらっしゃいます。今が良ければそれでいいのでしょうか？昨今の災害は年々規模が大きく被害も深刻です。もっと身近なこと、自分自身の行動等を見直すことをしていかなければならぬと思います。大きな事はできなくても、一人一人ができる事をコツコツとやり続けることが大切だと思います。
- ・今、自然や資源の破壊は、どのくらい進んでいるのか知りたい。（日本と世界） ・地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を減らす対策を進めて欲しい。 ・つぶやき！子や孫たちの未来はどうなるのか。
- 長野が今世紀末には鹿児島になるようなショッキングなニュースもあった。具体的に身近かに聞くと温暖化へも関心が高まる。いろいろなデータを広報してほしい。又、未来への取組みは、行政のトップの姿勢や行動も市民は見ているので、市長の率先垂範行動が大事。市長車を電気車にするとか、公用車に自転車を増やすとか、エコ生活実践者を表彰するとか。環境は大変な仕事ですが、いろいろ挑戦していくことが大事だと思います。
- (有)コエルは、悪臭、水質汚濁等地域にはマイナスばかりの要素なので早期に撤退を行政としてお願をしてほしい。
- 河川環境について 河床の上昇を解消すれば、洪水時にかなり違うのではないかと思う。泥上げをしたらどうですか。
- これからは、温暖化対策に取り組むことが一番。CO2削減に向けた教育が大切。
- 脱プラスチック生活をしようと試みましたが、菜園を持たない自分は買い物をすればすべての商品から廃プラゴミが出ました。紙ゴミや生ゴミは処理する方法がありますが、廃プラは自力ではできません。流通のシステムから変革しないと減量はできないと考えます。（もはや、レジ袋を買わない程度で変われないと思います）行政で指導が必要なのか、法律で変える必要があるのか・・・判断がつきませんが、消費者が自力でやれる部分はほんの少しです。
- 夏場野生動物が増えたように思う。畑の作物を食い荒らす。どうしたものか？冬の野鳥もキャベツなどのき下のものをくいちぎる。共存できないものなのか。サギはコイを食べてしまう。人それぞれ考え方もちがい人間同志の共に生きる力も個性的でむずかしい。理想と現実には差があるなあ。むずかしい。
- 今地域で行っている川や道路のふしんも村の人達も年々年をとって出られる人も少なくなっています。いつまでも今のようにできなくなってしまいます。行政でも少したすけてもらえば助かると思います。
- なし

- 台風 19 号の後、川、河川敷のゴミが気になりました。若ければひろってあるきたかった。海に流れて行ってしまうと
- 一人ひとりの心がけで良くなることもあるし地域で協力しなければできないこともある。他の人と交流することで、環境改善できることに気付くこともあると思う。住民の絆を大切に自分ができることをやっていきたい。
- 自分が子どもの頃の夏の暑さと今の夏の暑さの違い。雪の多さのちがい。雨の量が災害がおきるくらいのときもあり変化をかんじる。1人1人次の世代のためにも少しづつ行動しなくてはとも思う。
- 自分は知らないことが多かったことを知った
- これから高齢化が進み、空き家が増え集落が荒廃していく可能性があると思うので、空き家の再利用について取り組んでほしいです。
- 自然豊かな飯山市を、これからも大切に！食べ残しぜロは、積極的な P R を！資源再利用→休日に回収の頻度を増、P R を！ クリーンセンターの利用（持ち込みゴミ）をしやすいように→職員の対応が悪く、あまり行きたくない→とても良い行政もある。これからも頑張って下さい。ごくろうさまです。
- 野焼き（下草焼き？）はけむりも臭いもひどいのでやめてほしいです。時期になると複数の場所からけむりが上がっています。昔からの習慣なのかもしれないけれど、においがつくから窓も開けられません。テレビで観る田舎の風景としてはのどかで良いですが、生活している身としては、正直、「ひどい環境」と思います。
- 市民一人ひとりの小さな積み重ねが大きな成果となるため、毎日コツコツと実践していきたいまた、子供達の未来のためにも、今、生きている市民一人ひとりが努力する必要を再確認してほしいと願う。
- 区民の高齢化と比例して、農地が荒れて行く。
- 粗大ゴミについては、現在エコパークに持ち込んでいる物の中で、市でチケット発行して（有料）ゴミステーションで回収できると有り難い小型の物も有るので考えて欲しい。ビンについては、袋を販売してもゴミステーション回収できる方が良い。（重たいし、遠い）
- 環境は人口が少なくなり良くなります。それより人口をふやし活気の有る町を作ってほしい
- 住民一人一人の意識を高揚し、特に生ゴミの処理施設で有機農産物を作る方へ指導してもらいたい。
- 生ゴミをもっと減らす為に堆肥化の推進をもっと進めたらどうか？
- プラの分別を行ってはいるが、可燃ごみと処理の流れなどがどう違うのか分からぬ（知らない）ので、いまいち効果を実感できない。何のためにやっているのかと思う。結局焼却処理しているのなら意味があまりないけれどどうなっているのだろう。
- 道路をよくなおしてもらいたい（あなだらけ）

○環境の取り組みについては、一人一人が関心のある分野が違うので、自分ができる事をできる範囲でやっていくのがいいかと思います。人がどんな取り組みをやっているのか？世界の取り組みや環境に関することも知りたいです。最近講演会を聞いた、環境活動家の谷口たかひささんのお話が印象的でした。地域の環境とは少し話はずれるかもしれません、一人から地域へ、地域から日本へ、世界へとつながっていると思います。YouTube で Taniguchi Takahisa で約2時間の講演会がアップされています。（気候変動、気候危機等のお話）

○10年くらい前に利用しようと思ったが5000円以上でないと利用できず、少人数の家庭ではコンポストが5000円以下だったので利用できなかった。もっと普及させる気があるなら、全ての人が利用できるようにするべきではないか？市役所には連絡済みだが、改善はあったのか？

○飯山市の家庭ごみが増加傾向にあるのか知らない。市民へアピールしているのか？

○ゴミに関しては個人ではなく、購入時に発生するので世の中全体の仕組みでなければ抜本的な解決にならない。限られた資源、リサイクルという響きは良いが、解決策と称して無駄や、逆にエネルギー、人件費等が多くなる。見た目の印象やイメージではなく、本当の効率とロスを見直さなければならない。景観、田畠、水資源、災害対策など全て後手すぎる。

○地区ごとに学習会（説明会）等の実施？

○同じ様な内容を繰り返しますが、まだ地区内でゴミを燃やす「習慣」があります。また燃えたカスを川に流している「ヤカラ」がいます。この様な人たちの「罰則」を強化していただけたら、豊かな自然が保たれると感じます。各行政機関と協力し、取り締まりの強化をお願いしたいです。

○ごみ処理を有料化しても減量には繋がらない

○木島地区に住んでおりますが、其綿の工場のにおいがただよっていることがあります、有害なものでないかと心配になるので、情報があれば教えていただきたい。お疲れさまです。

○そもそも、地球温暖化というのは、国際的には嘘だと分かっています。ペットボトルをリサイクルするため余計に燃料を使うのは本末転倒です。脱炭素もグローバリストがお金を稼ぐためのこじつけに過ぎません。日本は地域独自に色々決めれるようにしたら良いのでは？それよりも、コロナのための自殺や失業を防ぐ対応をして下さい。まずはテレビの偏向報道を真に受けない様に市民に呼びかけて下さい。1年経ってコロナはインフル以下の感染症であるのはデータで分かります。

○地球温暖化により自然災害が増えている事に怖さを感じています。次の世代の子供や孫達が危険と隣り合わせで生活していくのは大変な事です。ゴミの減量、資源の無駄遣いをなくす（こまめに電気を消すなど）牛肉の消費を減らすなど目先でできる事からしっかりとやっていきたいと思います。きれいな空気、おいしい水、自然豊かな飯山をより良い状態で次世代に引き継いでいってほしいです。

○区民の声を区長さんに連絡して色々とやっていただいておりますので感謝しております。この年になって環境もそうですが手足も不自由になったり耳も聞こえなくなってきたり若い時と同じ考えにはおよびません。一つだけお願いがあります。防災無線の事ですが、女性のアナウスではっきりお話の

できていない方がおひとり様おられるようです。ひとことひとことくぎって読んでいただきたいと思います。（優しい読み方でも聞きづらいのです）

○特になし。

○（自然・風景について）金にならない事には関心を持たない。特に若者は休日に時間が空いていても、これ等に触れる感性が育まれていない。6項について、ごみの減量は、ゴミの種別によって異なった内容となるので質問を分けてあると答え易いと思いました。

○米ヌカの再使用について市の方で必えてほしい。なぜなら畑にまくと、イノシシが食べて数が増えるから。

○なし

○今の政策（コロナ時～）テイクアウト、ネット通販等で多量にロス（ゴミ）が出ているのではないか？ゴミが多くなる方向（政策）なのに減量する言ってる事とやっている事がちがうどうするのか聞きたい

○「4. あなたが実行していることについて」の質問に対して答え方が分かりにくい。

○毎日毎日ひとつひとつ積み重ねていくしかないと思います。日々の生活で食べ物を無駄にしない。ゴミはきちんと始末する習慣を各々か家庭、職場で身に付け、無意識にできるよう精進、そのための情報は行政からどんどん出していただければと、お願いいいたします。

○①最近、大手デパートから贈答品の包装は簡素化されている。箱の上に「のしをかねた包装紙」を巻いてあるだけだ。それに対し飯山では、①箱に入れ、②包装紙で包み、③のしをかけてある。これは地域性もあるのか、見ばえはよいがゴミが多く出てしまう。贈りての意識を変えて（簡単な包装でも気持ちは伝わる）簡易包装を推奨していくべきだと思う。②「日本の原風景」を残す飯山を誇りに思うべきだ。夜は静かで星空が美しく、何もない自然の豊かさを大事にしないといけない。開発すればその辺りの都市と変わらなくなってしまう。今そのままが大切。都会のマネはしない方がよい。

○約20年くらい前に本町にあったペットボトル回収コーナーを再び作って欲しい。クーポンが出て便利だったので当時よく利用していた。時々やっている市役所でのダンボール等回収の場所を変えて欲しい。市役所でも良いが、駐車場が混んで困る。ベイシアにダンボール等回収するBOXがあるが、他の店でも導入して欲しい。

○1. プラスチックは全て回収、再利用する。 2. ガラス類は割れた物も危険物とせずにガラスビンと一緒に回収する。 3. 防災マップを無くしていくのが行政の仕事です。 4. 人口増対策に金を使いすぎないようにして下さい。

○今でも袋は有料 1. 地球規模での気候変動に対する対策を市当局が率先して行動すべき。 2. 自然景観は努力しないと荒廃してしまう。市民の行動を集めて対処したい。 3. 若者、青年の環境問題に対する取り組みを育て、総合的に対応したい。 4. “環境、福祉のまち飯山”に!!

○地球規模での環境悪化→温暖化などは、あまり期待できないが、個人でできる取り組みなどは、ひとりずつ意識を持ち取り組めば環境は変化するかもしれない。人類が発達し、何でもそろってしまう今、どうしてもしかたのないことはあるかもしれない。便利さは環境破壊かもしれないと思ってしまう。コロナ禍で、すべての人がわかったこともあると思うので、まずはそこから見直していくべきなのでしょう？

○野焼きをしている。田、稻刈、あと、ワラを焼く… これは来年の為に必配だと思う。国道、県道のそばの田んぼは、通行する車の多いわくだと思う。気をつかって、焼いている。少し道路から離れている田んぼは、気をつかう事なく沢山、もやしている、田んぼがある。

○川・水田・里山等々、今でも日々、美しいと思える飯山ですので、この景観自体が宝であることを、子供達にも伝えていけたらと思います。美しいと思える心や、多様性を認め、差別しない心など、底に流れるものは同じですので、環境や教育など連携して取り組んでいくことが肝要かと思います。

○道に落ちているマスクが気になります。

○むずかしいけど頑張ってください

○便利になる=環境に悪いということをみんなに知らせる。そして不便をおねがいする。自然環境よりも実際の台風19号で大きな被害が出ました。私も被災者の1人ですが、千曲川の増水が何度もおこり、この先も必ず同じような被害が予想されますが、対策が充分とは思えません。被災者としては、ゴミの量よりも、その方が心配です。食品ロス云々については、若い人が大食いと称して、大量に食べている映像を見かけますが、その様なものをTVで放送するのをまずやめるべきではないか。どう考えてもよくないことを皆、黙認している。まずそこがおかしい。

○我が家ではやることは全てやるよう努力していますが、もっと意識を高く持って、ゴミ問題や環境について考えたいと思います。

○ゴミ袋に名前を書くのは、防犯上の観点から見直しをするべきだと考えます。資源物の回収場所も通常のゴミ回収場所だと助かります。

○設問が長い。詳細な設問が、はたして何に、どこに繋がっていくのか分からぬが、結果を明確にしてほしい。飯山市独自でも良いが、県内でゴミ対策先進地の取り組みを見本にするのも良いと思う。(例軽井沢町など)

○同じ隣組の人達が春、夏、秋とゴミ燃やしをします。風向きによって臭いが家の中まで入ってきて、何回か注意をしても、“私だけじゃないから、みんなやっているよね”と言われます。確かに5件みんなで燃やしているのですから、強いです。特に夏は北側の窓を開けて風通しよくしたいのですが、煙りくさい臭いにはたまりません。市の方に連絡したのですが、防災無線で流してくれませんでした。1人が困って訴えてもとり合っていただけないのでしょうね。残念です。布団を干している時は匂いがついて大変です。何か良い方法がないものでしょうか。

- 飯山では自分たちより上の世代はごみの野焼きをあたりまえのようにしている。(それをダメと言えない自分もダメですが) 料理はいちどにたくさん作る。たまに行く買物で食べきれないくらいの食材を買う…のは、若い人よりお年寄りにありがち。意識をかえるのはムズカシイです。
- ・野生小動物が多くてこまる。大事な野菜、果物食べられてこまる。ネットでもだめ ・市全体で何年前か日帰りで視察した事が有ったが現在は?
- 1ご自分のゴミをはなれた畠でもやしていますが畠の近くの家の事を考えて欲しい 2どうしようもないと思いますがきのこの作業場が近くて全ての点で音、けむり、臭、とても気になります 以上
- このような内容でしたら女性に答えてもらつたほうが良いと思います。
- 生ゴミについて、ゴミ減量項目にも書きましたが、生ゴミ処理機は各家庭に必要だと思います。(これにより生ゴミはかなり減ります) 高額なので補助金があれば助かります
- 家のまわり(町内)は高齢者ばかりで、お互い何ヶ月も顔を合わせないでいるのが現状で、何か寂しさを感じる。市で老人のリーダー育成に力を入れ昔の老人クラブのような活性化をとり戻して欲しい。
- 子どもの増加に伴いオムツによるごみも増加します。長野市のようにゴミ袋1年分を産後家庭にいただけるのであれば、ゴミ袋代の値上げに賛成します。
- 飯山市は自然が豊かで静かでとても素晴らしい所です。そして、とっても良かった事は新幹線が止まり町もきれいに整備されて、夢が大きく膨らんで、私達多くの人々に明るい期待を与えてくれました。人口減少は悲しいですが、美しい自然に囲まれてのどかで環境も良い所ですから、都会から多くの人達に来て頂いて、良かったら暮らして頂いたらとても喜ばしい事と思います。
- 環境については身近な事から地球規模な事までさまざまだと思うが、まずか自分達にできる身近な事に少人数ではなく「皆」が取り組むことが大切だと思う。(区単位、市単位など)
- 環境問題は個人の意識が大事な事であると思う。いかにその意識をとり込めるかが必要。そのためには行政がリーダーシップを取るべきだ。
- スーパーにプラスチックトレーなどの回収をしっかりやるよう義務づける。大型店はダンボール、トレー、ペットボトルなどの回収を義務づける。他の市ではやっているのに飯山はほとんどやっていない。荒地の草刈りをしてもらえると助かる。廃屋に動物が住みついているようなので駆除してほしい。飯山は果樹が少ないのでワラが余っている。果樹農家はワラが必要だから近隣の市町村と話し合いワラを持って行ってもらえるよう何か考えたらいいと思う。とにかく秋の田のワラを燃やす煙がひどい。
- 次世代の人々が誇りを持って郷土を愛せる様努力したい。歴史的知識も現在の様子だと少々たりていなかと思う。水は世界的に不足となる事が心配される。地権等で地主と買主でのトラブルにならない事を願う。特に外国の人々には十分な説明が必要になると思われる。いつまでも美しい飯山、里山を守ってゆきたい。
- (ごみ処理の有料化の是非) 既に有料化されていますが、値上げということでしょうか?

- 自分の住んでいる隣組の人達はきちんと決められた日に記名をしてゴミを出している…と思います。時々あきらかに引越し何かで出たゴミを置いて（出して）いる人がいます。永住的な家庭とアパートとか数年で引越しする人達とのゴミの出し方などに温度差を感じる事があります。
- 環境問題は、とても難しい事です。でも、市民全体で1人1人がちょっとした心がけをする事で、全体とすれば、大きく変われる事も出来るはずです。今回、このアンケートに答えていて、又、よりいっそう自分達の努力が必要である事に気づかされたような気がします。
- 4番の質問の5,7,19項目の回答番号が1か4どちらにして良いかわかりにくいです。
- （ごみ処理の有料化について）以前、市でごみの減量をすすめていた際に、コンビニや他の場所で捨てただけの結果に終わりましたよね。同じことを市民はするだけです。
- ゴミの分別をきちんと行い、プラスチックゴミと燃えるゴミもしっかり分けていたのですが、プラスチックゴミとしてだしたもののが、分別する会社で更に分けられ一部燃えるゴミになる事を知り、その後燃えるゴミとして出すものもあります。自分たちが出したゴミがどの様に処理されているのか、どの様にリサイクルされているのか、市民はしっかり知る権利があると思います。全ては知る→気付く→行動が変わる。その積み重ねで環境や街が変わってくるのだと思っています。”
- 計画をつくって、それで終わり。それを繰り返している感があります。不作為を繰り返していれば、たまりにたまって地域のダメージになります。ごみとか、身近で目に見えるものはやるのでしょうかれど、大きなテーマ（水質、田畠山林の荒廃、不在家屋の荒廃、など）こそ、長期的に大事です。これらの取り組みに期待します。
- ・道路にペットボトルなどのゴミが、捨てられている。→通勤や通学時に、ゴミを拾い、市が用意した、ゴミ捨て場に捨てられるようにする。・週1回“市民清掃の日”を設け、防災無線で呼びかけ、みんなで市内の清掃活動をする。
- 昔の本町通りが、活氣がない様に、おもわれます。何か良い案でもあれば幸いです。町の中が変われる様に思います。若い人に意見を聞いて、より良い町に、なれば、良いと思います。
- 巨額な財政赤字や少子高齢化により日本の政治、経済、社会の環境は次第に悪くなることは避けられないだろうと思います。微力ですが環境改善のためお役に立てるようご協力する所存です。
- 私達1人1人が真剣に取りくまないとだめだと思います。なかなかそのスイッチが入らない。
- 川や河川敷のゴミ拾いなどのようことで若い人たちができる活動があつたらいいなと思います。まち歩きをしながらゴミ拾いなどまちのことを知れて、歩くことで健康になって、さらにまちがきれいになる活動とか楽しそうだなと思います。（すでにそのような活動があるのかもしれません…。知らないだけでしたらすみません。）
- これを機に考えられました。こういう時折でいいので啓発活動（ではないでしょうが。）が、大切だと思いました。なかなか実行していない事を感じたので、1つでも、実行してみます。・ホッキスやめて下さい。手を切りました。

○千曲川の治水対策をしっかりしてほしい。治水工事が徹底されないのであれば将来的に引っ越しを検討している。戸狩から下流の掘削工事を強く希望している。水害の心配のない町作りを最優先にしてほしい。

○安心安全な町を造ってください。

○・アパートに住む方のゴミ分別がされていないのに時々気付く。市外から引越して来られた方や、一人暮らしの方だと思うけど…飯山市はどんなゴミの出し方をしても処分してもらえるというイメージを出来るだけ無くしていきたい。・小学生や保育園児に対してゴミ分別の説明会、学習会があつても良いと思う。各家庭のやり方、両親のやり方が1番と考えている子どもたちに正しい知識を身に付けて欲しい。・ケヤキの森公園のような場を飯山市にも作って欲しい。長峰は遊具が小さい子ども向けではなく、安心してあそばせられない。遊具はなくても良いので広くのびのびあそべる場が欲しい。→スキー場の活用など…！

○食品などの包装が2重になったり、しっかりしすぎているのがめだつ、後の処理が大変

○除雪した雪で雪まつりなど、せっかく経費を使うのだから。また除雪した雪の置場を多数設置して頂きたい。(個人でも持ち込みできる)

○(千曲川へ流れ込む川)田畠、山の雨水が地下へ入り、支流の川へ入り込もうとしてもU字溝が埋めこまれ流れ込めずに昔からの川のまわりに、水が沢山土に含まれ、いろいろな問題がおきていることを御存知でしょうか?本来の小川の役目を果たせず、時には、大災害にもつながると常に気になってます。関係機関では是非、研究したり現地の調査をお願いしたい。

○意見ではないですが…環境やゴミの問題について、意識する良い機会になりました。

○神戸の個人宅にスクールゾーンのすぐわきに大きな丸太を置きっぱなしにしてあったり、電気柵を設置したりと大変危険なので、考えてほしい。家の付近での野焼きをやめてほしい。通学路にたばこのすいがらが沢山落ちていることが気になる。

○ごみの分別を進めていく重要性の高さは感じている一方で、高齢者の方のみのご家庭などでは分別が難しくて大変だ(やりきれない)という話を聞くこともあります。分かりやすい分別方法、指導(補助)の必要性もあるのではないかと思います。

○・本町アーケードの天井は蜘蛛の巣だらけで、見るたびに残念なりません。掃除についてはどういう形になっているのか分かりませんが、美化意識を高めて取り組んで欲しいです。また市民のこのような意見を届けやすい工夫をして欲しいです。駅等にご意見BOXを置くとか…。(あるのかな?)胸をはって「飯山へおいで下さい」と言えるような環境作りをお願いしたいです。市民1人ひとりの心掛けも大切です。・ゴミ袋を回収日にネットを掛けて路上に置くのも嫌です。フタ付きのゴミ入れを市全体で使用するようにして欲しいです。・雁木通りは狭くて歩きにくいし、家庭の物を置くのは止めてもらいたい。車もはみ出している。お花のハンギングバスケットはとても良い。

- フラワーロード花の統一（コスモス他、菜の花、あじさい、小ひまわり、60cm位花で繁殖力強い、毎年咲く）お金をあまりかけずに。無関心、利己主義等根本をどう改善したら良いのか。ひとりひとりの問題、との意識づけをするには？すみません、わかりません。
- 特にありません。
- 昔いた魚、コン虫等が普通に見たい。どうすれば良いかおしえて下さい。
- 人間も環境（自然と）の一つであり自然（環境）を大切にすることは、自分（人間）を大切にすることである事を自覚覚醒せしめる教育を早くからすべきでしょう。
- 市としての目標地点が見えない。あいまいなスローガンではなく明確な目標と、そこに向けてのステップを市民が知る必要がある。良くしたいというメッセージを伝える必要がある。
- 中央橋が新しくなったのは良いのですが、前の古い橋の一部が見られる場所ですが、駐車場が雪で全然停めることが出来ない。あまり意味がないように思います。新幹線が飯山に出来ても、駅の回りがあまりにもさつぱう景で、もったいない。何か店とか食事する所とか作ってほしい。これでは、人が降りてこないと思います。
- 個人、個人が意識を持ってやらなければ、何も始まらないと思う。自分も意識を持ってやらなければいけない。
- 里山整備と農地の耕作放棄地の整備をすれば良いと思う。飯山の環境はもともとすばらしいものだ。
- 農地の荒廃に早急に対処してほしい。（話は聞いた事があるが、まったく進んでないように見える。）
- 最近のニュースでの海や川での異変や世界各地での自然災害や虫などによる異変など…けっしてよその国の話とは思わず、身边におきかえ、何かあった時にあわてないように備えも必要だと思ってます。
- 経済を回すために物作り（新しいものを生み出すこと）は必要不可欠なのかもしれません、それにより、工場などから排出される有害な物質などにより大気が汚染され環境が破壊されているのだとすれば、この先の未来のためにもそれを減らす取り組みをすべきではないかと思います。
- ・家庭ごみけっこうたくさん出るのですが無料で処分していただき本当にありがたいことです。これからもきっちり分別し迷わくならないよう出したいと思います。・畑の草、ごみ等住宅のそばでもやされるととても迷わくなります。（煙、においなど）
- 市民の高齢化が進んでいますが、各地区の草刈りなど、しっかり行われています。が、そこから外れた所があるせいなのか、ブタ草などが、多いように思われる。何とか、ならないかと思う。千曲川は、以前より浅くなっているのでしょうか。土砂が溜まっているとかありますか？
- ・電池ゴミの回収ステーションが欲しい。・粗大ゴミの回収を簡単にしたい。
- 大人だけでなく、子供達にも理解できるよな、わかりやすい環境の取り組み方を広げてほしい。
- 環境がこわれて災害が発生することがこわいです。気候変動が多くなっている。将来が不安です。

- 台風 19 号で被災した経験から、現在、スタートしている千曲川の川底の掘削作業などを、順調に進めて頂き、台風が来る度、心配したり、避難したりしなくて良い、飯山になってほしいです。
- 硫黄の坂などへのゴミのポイ捨てや、鹿狩りへ来た人の車の無断駐車などへの注意をしっかりしてほしい。放置された物などを中国人やベトナム人が持って帰ったりしている。
- 高齢化がすすみ人口も減っているので人口が増えるように考えてももらいたい。こじんまりしていても住みよい地域だと思う定住者が増えてほしい。
- ・資源ゴミの回収、月1回、土、日を利用できるように、して頂きたい。・寒川、が土、日、利用できる日が増えてほしいです。ゴールデンウィーク、すごく混雑するので。
- リゾート地に外国人の経営者と外国人のゲストが多くなっています。ゴミの分別が理解されてない外国人が多いです。外国人用の説明文と説明会対応が必要だと思います。
- ごみを減らす事は環境の改善に必須である一方、消費社会は経済活動と密接な為バランスが難しいと感じる。また、スーパー等ではコロナ対策や品質管理、作業の効率化を優先すると過剰包装は避けられないのだと思う。ごみ処理の有料化は不法投棄につながりかねない一方、その収入で処理の経費削減をするのではなく、住民に何らかのメリットのある様な別の形で使用すると効果が上がるのではないかと思う。(収支の情報開示の見せ方を一工夫する。財布の中身は同じだと思いますが) ex.住民税下げる、ドック、健診の費用補助、頻度拡大→医療費抑制にもつながる。市内店のクーポン発行、等
- 燃えないごみ専用袋は口元を閉じるのに苦労します。とても使いにくいです。もえるごみ指定袋のように口元を結いて出せる形状に変えていただきたいです。
- 市で行っている景観事業を見直しできるだけ人手をかけずに毎年継続できるようにすべき(フラワーロード等)効率化。集落内の小河川の改修予算を確保し、災害に備えるべき。
- せっかく新幹線が止まっても、駅前のなんと寂しい事でしょうか…市職員の飯山を盛り上げる気迫は、全く感じられないのが残念でなりません。各自、守りに入りますよね。残念でなりません。私達は、日々努力してますよ!!
- 環境問題は地球規模で考えるべきことであり、子どものうちからわかりやすく、楽しみながら学べるシステムがあればいいと思う。大人も子どもも行動変容が必要であると考えるが、“きちんと学んだ子ども”的行動から大人が気付くパターンの方が、環境問題(家庭でできること、生活の中で気をつけられること)に関しては効率的であると考えられる。100年先までスキーが楽しめる環境を残したい。
- こういったアンケートをデジタル化してはどうでしょう。
- 畑に使用する肥料等の不快な臭気を規制してほしい